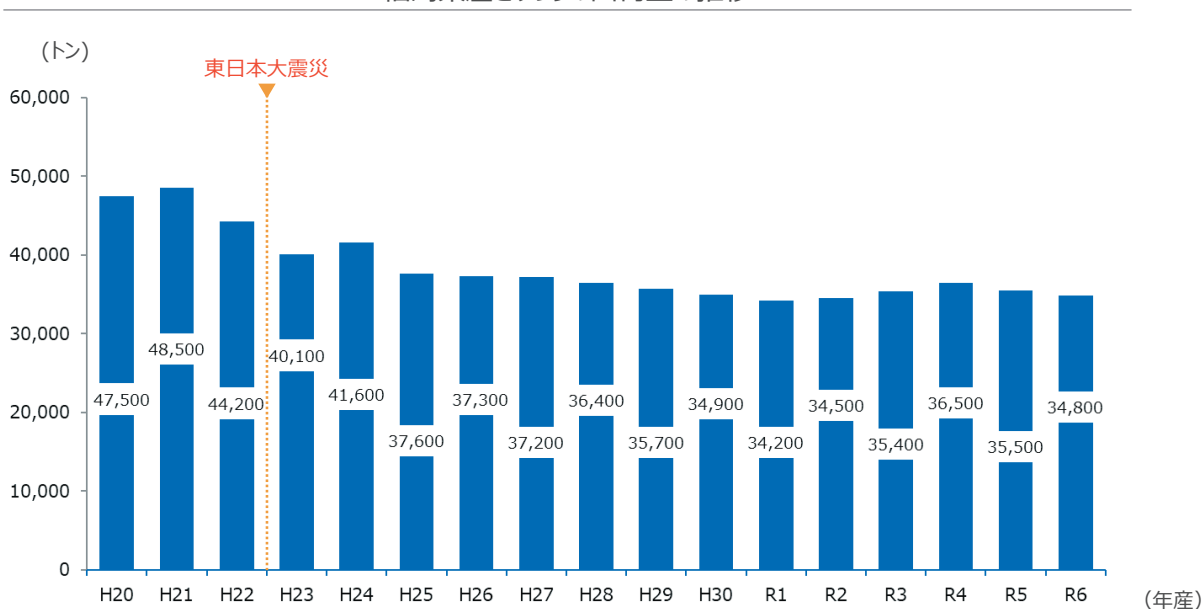


### 福島県産きゅうりの出荷量の推移

福島県産きゅうりの出荷量は、震災後平成24年産を除いて減少傾向で推移していたが、令和元年産を底に、令和2年産以降は増加に転じた。しかし、令和6年産は令和5年産を下回り、34,800トンとなった。

福島県産きゅうりの出荷量の推移

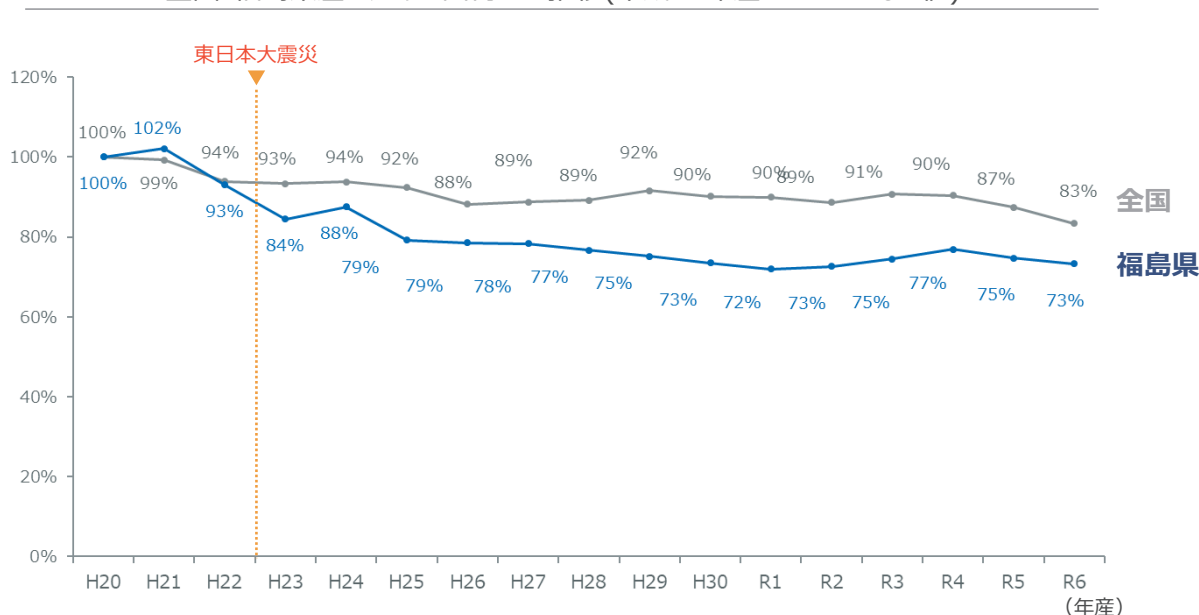


データ出所：農林水産省「野菜生産出荷統計」

### 全国・福島県産きゅうりの出荷量の推移

全国のきゅうりの出荷量は、震災前からは微減したが近年概ね横ばいで推移している。福島県産は震災後の平成23年産・平成25年産の大幅減少もあり、全国より減少幅が大きい。

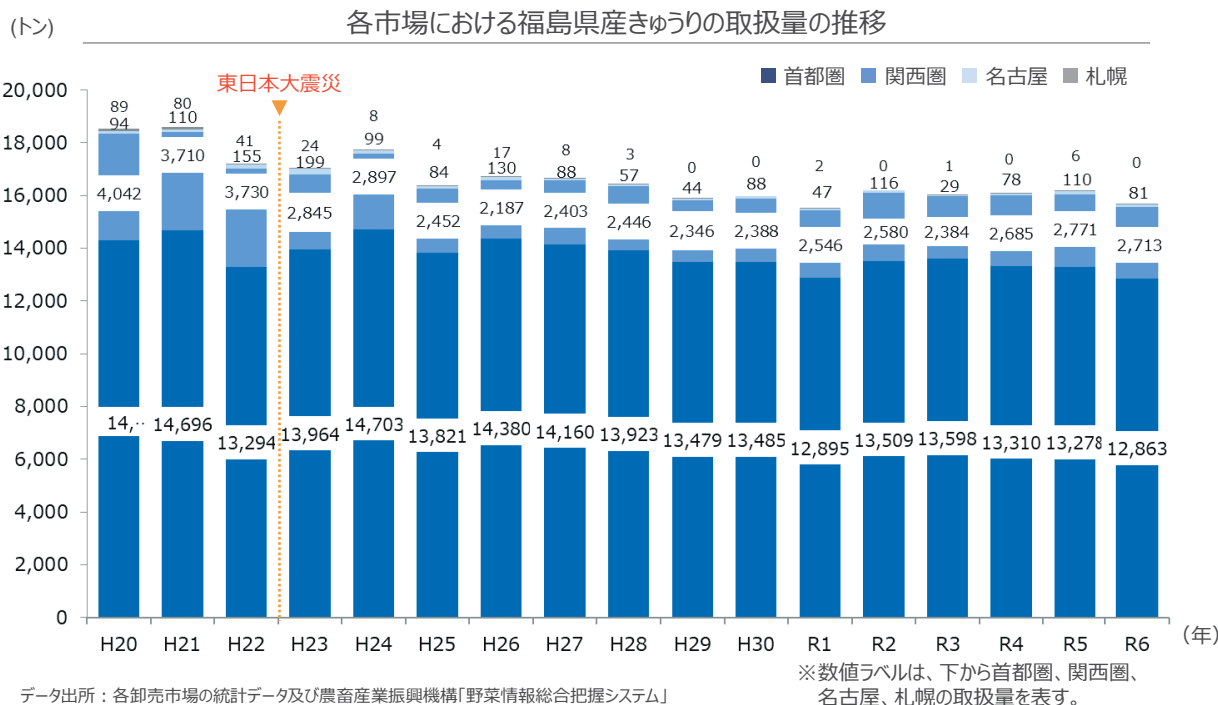
全国・福島県産きゅうりの出荷量の推移(平成20年産を100%とした値)



データ出所：農林水産省「野菜生産出荷統計」

各市場における福島県産きゅうりの取扱量の推移

主要4地域の市場における福島県産きゅうりは、主に首都圏で取り扱われており、震災後、関西圏への出荷は減少している。また、名古屋・札幌への流通は震災前から少ない。



各市場におけるきゅうりの産地リレー(令和6年産・首都圏)

福島県産きゅうりのシェアは、東京都中央卸売市場では7月～9月に1位であった。横浜市中央卸売市場では6月～9月に1位であった。

各市場における産地リレー(令和6年産)

各月で市場シェア1位～3位の順に色付け

市場	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
東京都中央卸売市場	福島 0%	0%	0%	1%	4%	17%	42%	47%	29%	11%	4%	0%	10,079
群馬	7%	17%	27%	28%	26%	25%	7%	4%	17%	28%	20%	8%	11,605
宮崎	48%	38%	24%	16%	12%	3%	0%	0%	0%	3%	23%	43%	9,282
埼玉	4%	3%	13%	22%	26%	24%	4%	1%	12%	23%	23%	11%	9,045
千葉	16%	16%	13%	11%	8%	6%	4%	2%	2%	4%	9%	18%	5,310
茨城	6%	9%	10%	9%	9%	7%	3%	2%	7%	9%	5%	3%	4,150
総量	4,159	4,045	4,900	6,122	7,411	6,509	6,305	7,567	6,226	4,532	3,512	3,590	
横浜市中央卸売市場	福島 0%	0%	0%	3%	15%	34%	53%	52%	38%	20%	8%	1%	2,784
高知	47%	38%	30%	23%	15%	6%	0%	0%	0%	3%	24%	44%	2,043
群馬	0%	11%	22%	25%	22%	17%	1%	1%	14%	26%	23%	7%	1,692
千葉	15%	16%	14%	12%	8%	6%	4%	2%	2%	2%	7%	17%	1,007
宮崎	27%	18%	10%	6%	5%	1%	0%	0%	1%	11%	14%	24%	999
秋田	0%	0%	0%	0%	0%	2%	15%	19%	13%	2%	0%	0%	680
総量	849	823	972	1,114	1,308	1,181	1,250	1,598	1,162	881	699	720	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。

各市場におけるきゅうりの産地リレー(令和6年産・関西圏)

**福島県産きゅうりのシェアは、大阪市中央卸売市場では6月～8月に1位であった。京都市中央卸売市場では7月・8月に1位であった。**

各市場における産地リレー(令和6年産)

大阪市中央卸売市場		各月で市場シェア1位～3位の順に ■ ■ ■ で色付け												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
福島	0%	0%	0%	0%	1%	21%	47%	52%	29%	7%	0%	0%	2,283	
宮崎	43%	40%	41%	37%	36%	20%	3%	1%	3%	22%	37%	38%	2,781	
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	6%	25%	27%	34%	24%	3%	0%	1,596	
高知	17%	13%	16%	13%	9%	8%	4%	0%	0%	2%	16%	18%	996	
愛媛	8%	9%	8%	7%	5%	7%	8%	8%	4%	2%	2%	5%	758	
徳島	9%	11%	9%	9%	11%	5%	1%	0%	0%	0%	1%	8%	573	
総量	730	714	799	938	1,165	1,276	1,498	1,627	1,329	1,038	666	660		

京都市中央卸売市場		各月で市場シェア1位～3位の順に ■ ■ ■ で色付け												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
福島	0%	0%	0%	0%	0%	3%	26%	25%	9%	1%	0%	0%	430	
宮崎	70%	62%	53%	41%	37%	24%	4%	3%	3%	9%	37%	62%	1,986	
滋賀	4%	4%	5%	14%	17%	19%	3%	1%	5%	17%	18%	15%	694	
高知	18%	20%	19%	17%	11%	11%	1%	0%	0%	3%	16%	15%	648	
佐賀	1%	6%	10%	9%	13%	12%	2%	6%	13%	18%	10%	1%	598	
京都	0%	0%	0%	0%	1%	8%	20%	23%	18%	11%	5%	2%	569	
総量	413	402	477	614	743	700	585	756	725	518	400	391		

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。

465

各市場におけるきゅうりの産地リレー(令和6年産・その他)

**福島県産きゅうりの取扱いは、名古屋市中央卸売市場では年間を通して僅かであった。札幌市中央卸売市場では、年間を通してほとんど見られなかった。**

各市場における産地リレー(令和6年産)

名古屋市中央卸売市場		各月で市場シェア1位～3位の順に ■ ■ ■ で色付け												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	2%	1%	1%	0%	0%	81	
愛知	56%	59%	55%	50%	41%	32%	4%	1%	0%	4%	38%	54%	4,501	
長野	0%	0%	1%	5%	9%	26%	60%	60%	38%	21%	6%	1%	2,947	
群馬	0%	1%	13%	19%	25%	23%	2%	0%	15%	35%	18%	1%	1,863	
宮崎	20%	18%	12%	11%	11%	8%	1%	0%	0%	7%	18%	21%	1,417	
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	3%	23%	21%	19%	12%	0%	0%	985	
総量	1,042	990	1,173	1,374	1,632	1,412	1,239	1,517	1,169	938	847	878		

札幌市中央卸売市場		各月で市場シェア1位～3位の順に ■ ■ ■ で色付け												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0	
北海道	0%	1%	6%	7%	17%	86%	100%	100%	100%	92%	26%	0%	4,788	
宮崎	87%	76%	67%	64%	48%	8%	0%	0%	0%	5%	66%	85%	1,802	
千葉	12%	18%	19%	19%	17%	3%	0%	0%	0%	0%	1%	12%	397	
埼玉	1%	1%	3%	5%	10%	1%	0%	0%	0%	2%	3%	1%	121	
佐賀	0%	0%	2%	3%	4%	2%	0%	0%	0%	1%	3%	0%	70	
総量	320	333	385	430	517	838	1,287	1,184	910	521	237	284		

データ出所：各卸売市場の統計データ

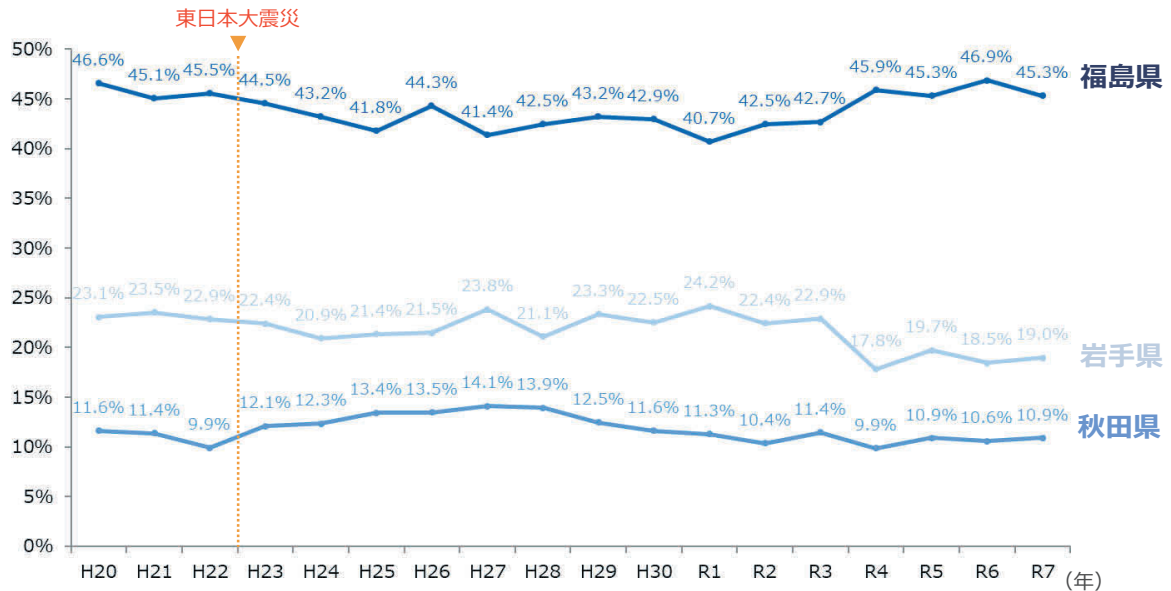
※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。

466

東京都中央卸売市場における福島県産きゅうりのシェアの推移

**東京都中央卸売市場における8月の福島県産きゅうりのシェアは、震災後に微減したものの、40%以上を維持している。また、直近4年は震災前と同水準のシェアとなった。秋田県産のシェアはほぼ横ばいであり、岩手県産は近年20%未滿で推移している。**

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(8月)



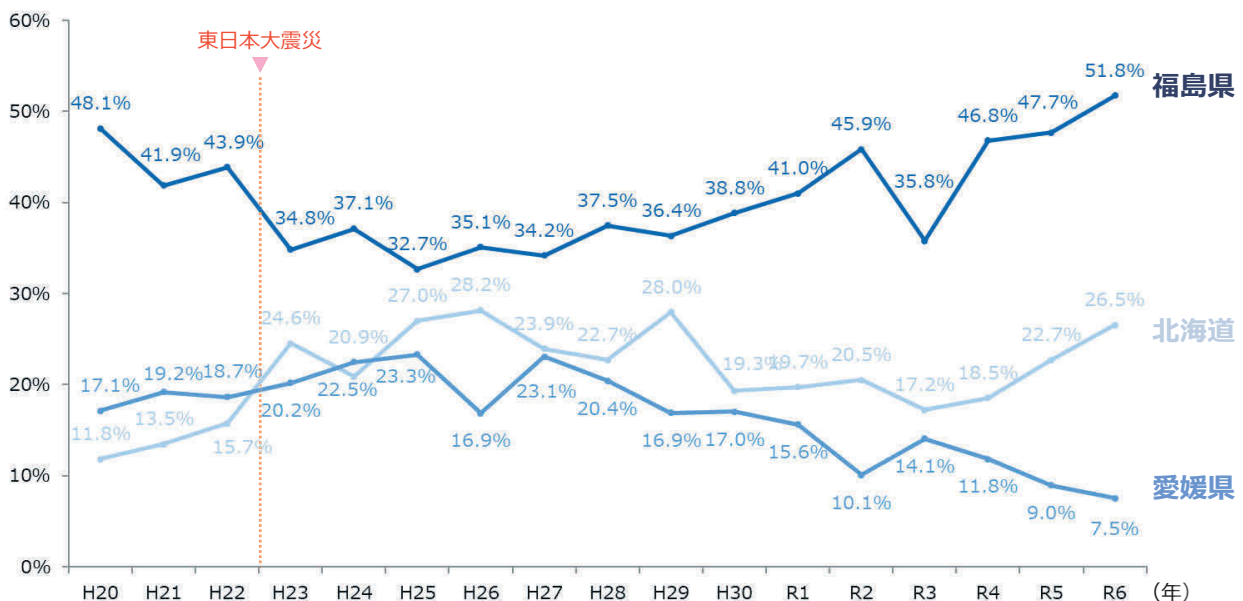
データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

467

大阪市中央卸売市場における福島県産きゅうりのシェアの推移

**大阪市中央卸売市場における8月の福島県産きゅうりのシェアは、震災後は縮小したが、平成27年以降概ね拡大傾向にあり、令和6年には51.8%と平成20年以降最大のシェアとなった。福島県産は震災前後で変わらずシェア1位を維持している。**

大阪市中央卸売市場における福島県産及び競合道県産のシェア(8月)

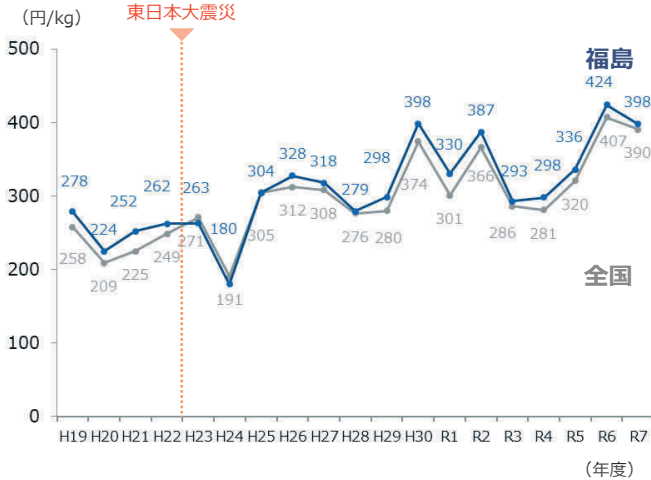


データ出所：大阪市中央卸売市場「市況情報」

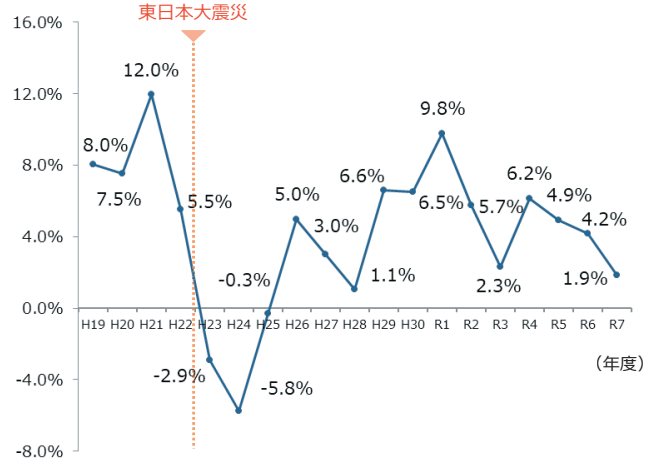
468

**東京都中央卸売市場における7月から9月の福島県産きゅうりの平均単価は、震災後3年間は全国平均を下回っていたが、平成26年度以降は全国平均を上回っている。**

東京都中央卸売市場における平均単価推移  
（夏秋きゅうり）



全国平均との価格差推移  
（夏秋きゅうり）



- 震災前(平成22年度)：262円/kg
- 震災後(令和7年度)：398円/kg(+135円/kg)

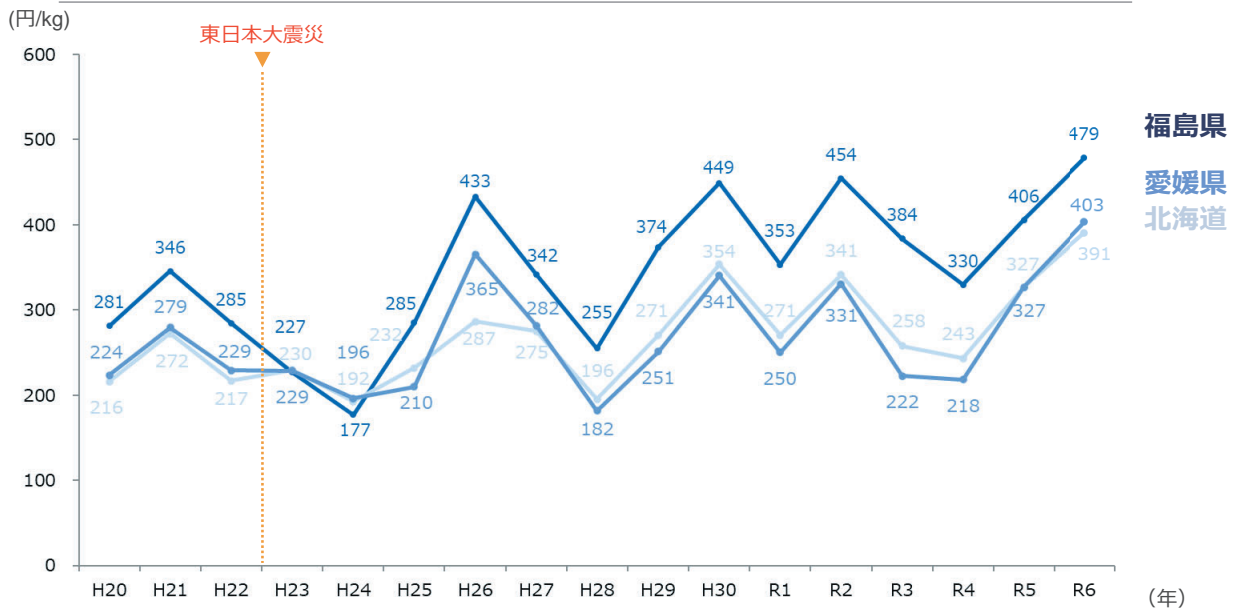
※ 7月～9月は福島県産の主な出荷時期。

データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

大阪市中央卸売市場における福島県産きゅうりの単価の推移

**大阪市中央卸売市場における8月の福島県産きゅうりの平均単価は、震災後2年間は競合道県産を下回っていたが、平成25年以降は競合道県産を上回る水準で推移している。**

大阪市中央卸売市場における福島県産及び競合道県産の平均単価(8月)

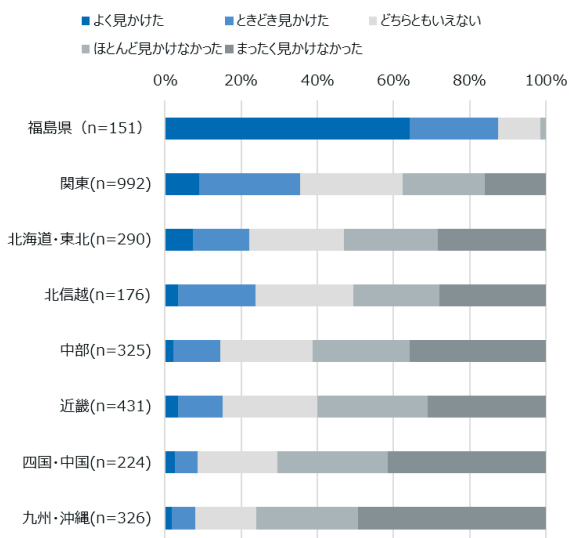


データ出所：大阪市中央卸売市場「市況情報」

福島県産きゅうりを見た経験と購入経験（消費者アンケート）

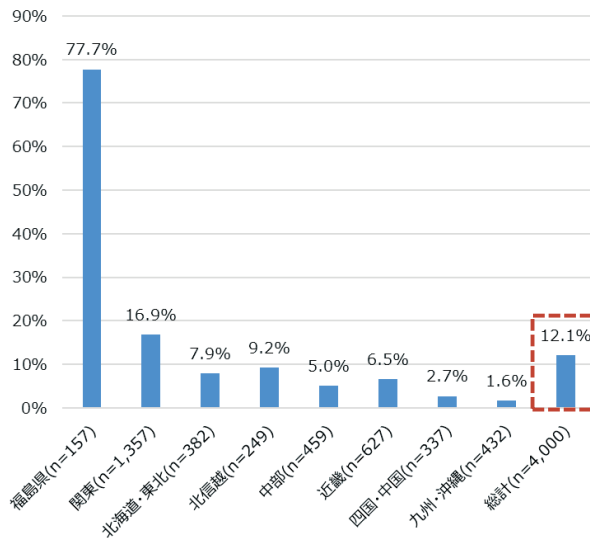
**福島県産きゅうりを店頭でよく見かけた人の割合は、福島県が最も高く、他の地域では10%に満たない。福島県産きゅうりを購入したことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では12.1%であった。**

福島県産きゅうりを店頭で見かけたか



※過去1～2年に、店頭で福島県産きゅうりを見た記憶を尋ねた。  
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産きゅうりの購入経験率

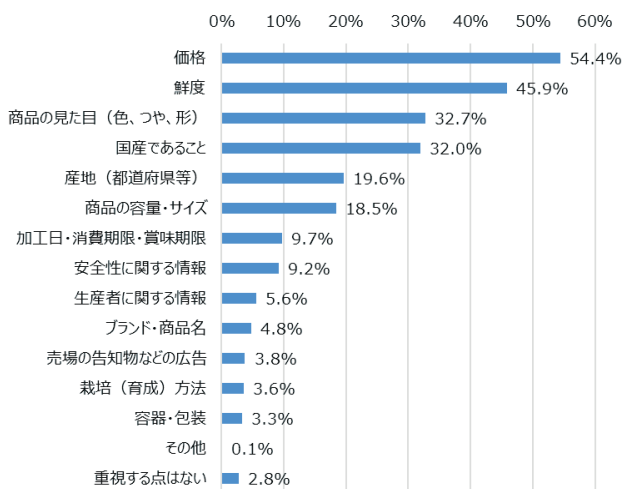


※購入経験率=1度でも購入したことがある人数/回答者数  
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。

きゅうり購入時の重視点と福島県産きゅうり購入者の評価（消費者アンケート）

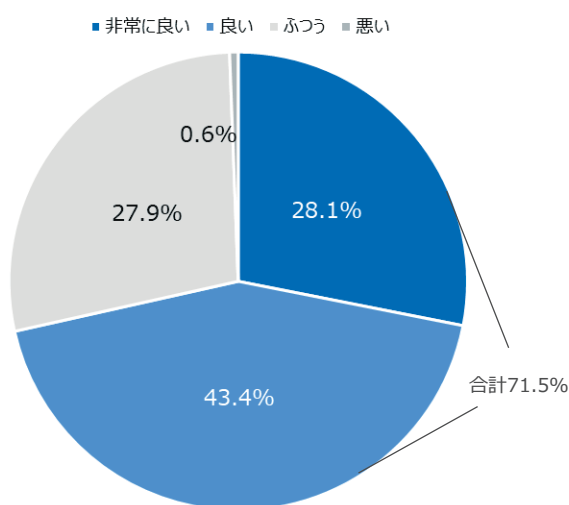
**福島県産に限らずきゅうり購入時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがった。福島県産きゅうりの購入者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が71.5%であった。**

きゅうり購入時の重視点 (n=3,306、複数回答)



※きゅうり購入時の重視点は、福島県産に限らない質問。  
※月に1回以上きゅうりを購入している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産きゅうりの購入者の評価 (n=484)

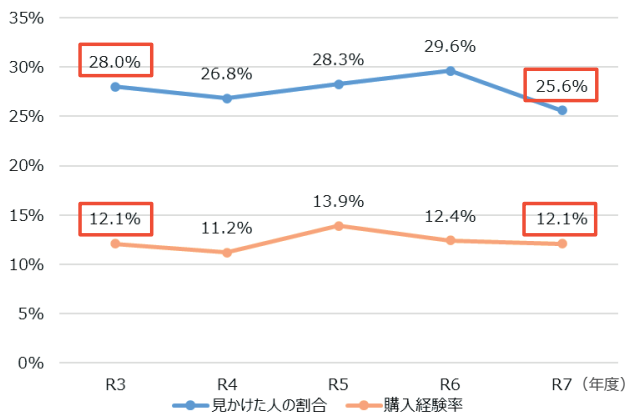


※福島県産きゅうりを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。  
※「非常に悪い」という選択肢も設けていたが選択した者はいなかった。

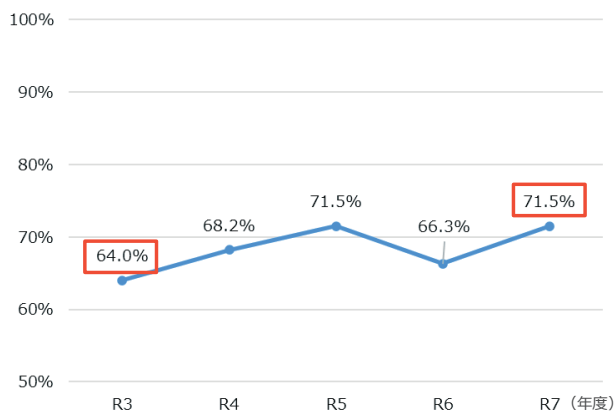
福島県産きゅうりを見た経験、購入経験と購入者の評価（消費者アンケート・経年比較）

**令和3年度と令和7年度を比較すると、福島県産きゅうりを店頭で見かけた人の割合は、2.4%下降、購入経験率は変化がなかった。福島県産きゅうりの評価として「非常に良い」または「良い」と回答した人の割合は7.5%上昇した。**

福島県産きゅうりを見かけた人の割合、購入経験率



福島県産きゅうりを高く評価している人の割合



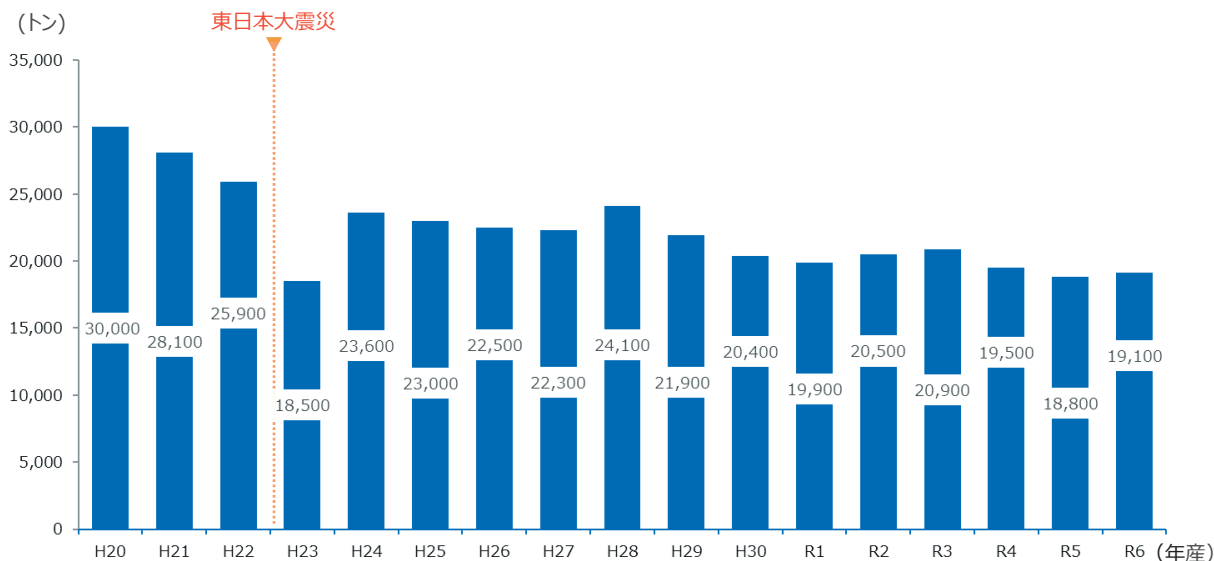
※見かけた人の割合は過去1～2年に、店頭で福島県産きゅうりを見た記憶を尋ねたもので、「よく見かけた」、「ときどき見かけた」を選択した者の割合の合計値。  
 ※見かけた人の割合のnはR3:7,855、R4:3,678、R5:2,904、R6:2,638、R7:2,915。  
 nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。  
 ※購入経験率=1度でも購入したことがある人数/回答者数  
 ※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていたら購入経験なしとなる。  
 ※購入経験率のnはR3:11,000、R4:5,500、R5:4,000、R6:4,000、R7:4,000。

※福島県産きゅうりを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。  
 ※グラフ上の数値は「非常に良い」、「良い」を選択した者の割合の合計値。  
 ※nはR3:1,332、R4:617、R5:557、R6:497、R7:484。

福島県産トマトの出荷量の推移

**福島県産トマトの出荷量は、震災直後に急落した後に回復し、その後は、緩やかな減少傾向にあった。近年は19,000トン前後で推移している。**

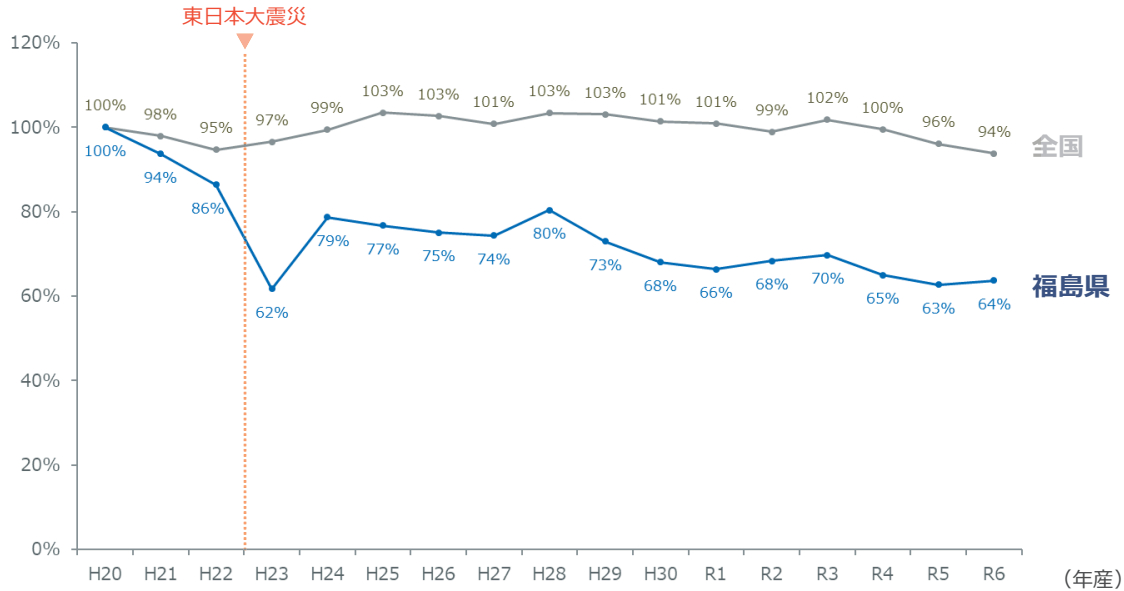
福島県産トマトの出荷量の推移



## 全国・福島県産トマトの出荷量の推移

全国のトマトの出荷量は概ね横ばいで推移しており、直近3年は僅かに減少傾向にあるものの100%前後の水準を保っている。福島県産トマトの出荷量は、震災以前と比べて70%前後と、総じて低い水準で推移しており、緩やかな減少傾向にある。

全国・福島県産トマトの出荷量の推移(平成20年産を100%とした値)



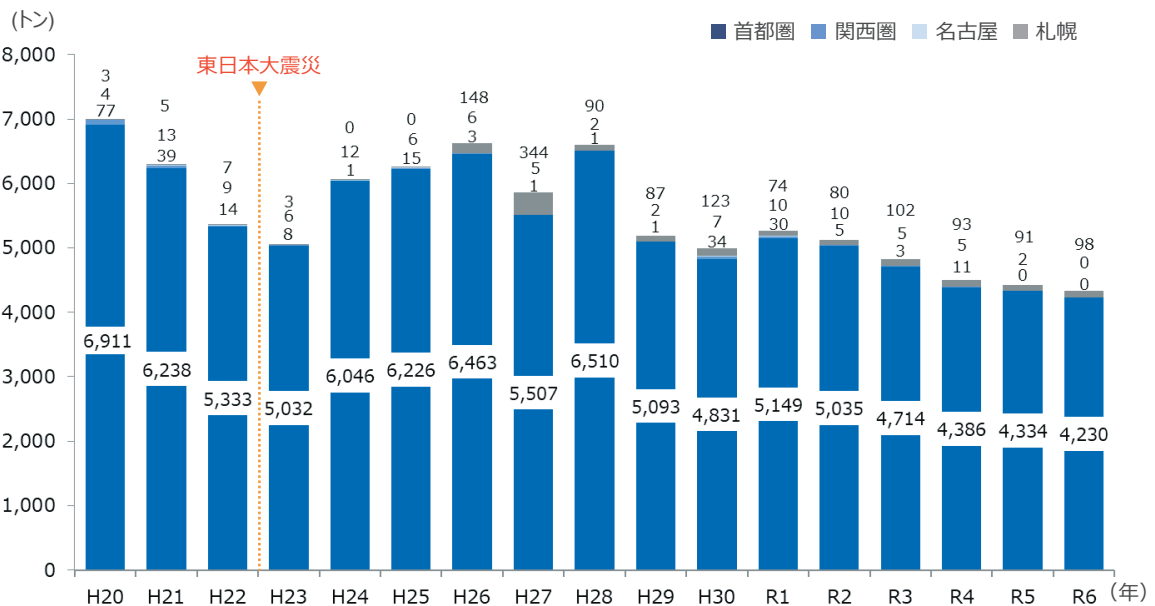
データ出所：農林水産省「野菜生産出荷統計」

475

## 各市場における福島県産トマトの取扱量の推移

主要4地域の市場における福島県産トマトは、震災前後を問わず、多くが首都圏で取り扱われている。札幌では、震災後の平成26年に取扱量が増えた。令和6年においては、関西圏・名古屋での取扱量は僅かとなった。

各市場における福島県産トマトの取扱量の推移



データ出所：各卸売市場の統計データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

※数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、名古屋、札幌の取扱量を表す。

476

各市場におけるトマトの産地リレー(令和6年産・首都圏)

東京都中央卸売市場では、8月～10月は福島県産トマトのシェアが10%～20%程度であるが、それ以外の月では取扱いがほとんど見られなかった。横浜市中央卸売市場では、7月～9月に福島県産トマトのシェアは2位となった。

各市場における産地リレー(令和6年産)

東京都中央卸売市場

各月で市場シェア1位～3位の順に  
■ ■ ■ で色付け

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	1%	0%	0%	1%	1%	2%	5%	18%	17%	12%	2%	1%	3,424
熊本	40%	32%	30%	32%	26%	18%	4%	1%	2%	14%	35%	35%	13,059
栃木	20%	24%	26%	28%	25%	21%	7%	1%	1%	3%	12%	23%	9,957
愛知	16%	14%	13%	11%	13%	12%	4%	0%	0%	5%	13%	17%	5,812
北海道	0%	0%	0%	0%	1%	6%	19%	25%	19%	13%	4%	0%	5,128
千葉	3%	4%	4%	5%	7%	11%	6%	2%	14%	16%	9%	5%	4,314
総量	4,891	4,897	4,593	6,052	6,815	7,049	6,451	7,457	4,979	4,062	2,974	3,086	

横浜市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	1%	17%	23%	19%	6%	1%	0%	806
熊本	70%	64%	64%	65%	60%	44%	8%	3%	2%	27%	66%	72%	5,953
栃木	14%	21%	20%	19%	16%	14%	3%	0%	0%	1%	4%	10%	1,437
青森	0%	0%	0%	0%	0%	5%	24%	24%	17%	13%	2%	0%	1,042
千葉	4%	4%	4%	4%	5%	6%	4%	3%	19%	17%	10%	5%	908
北海道	0%	0%	0%	0%	1%	4%	12%	18%	15%	17%	6%	0%	851
総量	1,083	1,046	920	1,394	1,466	1,494	1,384	1,336	991	1,044	729	815	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。

477

各市場におけるトマトの産地リレー(令和6年産・関西圏)

福島県産トマトの取扱いは、大阪市中央卸売市場では、年間を通してほとんど見られなかった。京都市中央卸売市場では、年間を通して見られなかった。

各市場における産地リレー(令和6年産)

大阪市中央卸売市場

各月で市場シェア1位～3位の順に  
■ ■ ■ で色付け

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
熊本	86%	84%	82%	81%	76%	42%	3%	0%	3%	19%	61%	77%	7,952
北海道	0%	0%	0%	0%	2%	21%	50%	49%	32%	26%	4%	0%	3,823
岐阜	0%	0%	0%	0%	0%	4%	22%	36%	50%	43%	22%	0%	3,269
愛知	7%	8%	9%	7%	9%	11%	6%	0%	0%	2%	7%	11%	1,041
福岡	3%	4%	6%	7%	6%	3%	0%	0%	0%	3%	4%	7%	563
総量	1,283	1,279	1,133	1,522	1,603	1,907	1,881	3,011	1,710	1,401	971	811	

京都市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
熊本	71%	69%	69%	66%	58%	40%	8%	4%	5%	19%	48%	63%	5,376
北海道	0%	0%	0%	0%	3%	26%	52%	57%	40%	30%	8%	0%	3,109
岐阜	1%	1%	0%	1%	0%	0%	24%	36%	48%	32%	7%	0%	2,055
福岡	18%	18%	21%	21%	24%	19%	5%	0%	0%	9%	21%	21%	1,881
三重	2%	3%	3%	5%	6%	6%	2%	0%	0%	0%	2%	3%	378
総量	833	863	893	1,323	1,393	1,424	1,397	1,845	1,286	1,112	791	807	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。

478

各市場におけるトマトの産地リレー(令和6年産・その他)

**福島県産トマトの取扱いは、名古屋市中央卸売市場では年間を通してほとんど見られなかった。札幌市中央卸売市場では、5月～8月・11月・12月にシェアが3位以内となったが、北海道産や熊本県産と比較して、取扱量は僅かであった。**

各市場における産地リレー(令和6年産)

名古屋市中央卸売市場		各月で市場シェア1位～3位の順に												
		■ ■ ■ で色付け												
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
岐阜		17%	15%	13%	15%	14%	17%	38%	65%	78%	63%	40%	15%	4,809
熊本		48%	48%	56%	55%	52%	36%	4%	1%	0%	14%	30%	46%	4,253
愛知		21%	22%	19%	15%	18%	23%	24%	10%	7%	11%	16%	19%	2,381
三重		11%	11%	11%	14%	15%	14%	5%	0%	0%	3%	11%	18%	1,224
北海道		0%	0%	0%	0%	0%	2%	18%	18%	8%	4%	0%	0%	779
総量		973	1,029	957	1,322	1,521	1,497	1,454	1,902	1,244	925	673	615	

札幌市中央卸売市場		各月で市場シェア1位～3位の順に												
		■ ■ ■ で色付け												
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島		1%	1%	3%	4%	6%	3%	2%	1%	0%	0%	3%	5%	98
北海道		0%	2%	8%	16%	59%	93%	98%	99%	100%	98%	83%	6%	3,482
熊本		93%	80%	67%	65%	33%	3%	0%	0%	0%	2%	14%	78%	974
長崎		2%	13%	13%	10%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	4%	94
千葉		0%	1%	1%	2%	2%	1%	0%	0%	0%	0%	1%	1%	28
宮崎		1%	0%	5%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	19
総量		247	186	225	274	407	595	804	795	473	408	215	100	

データ出所：各卸売市場の統計データ

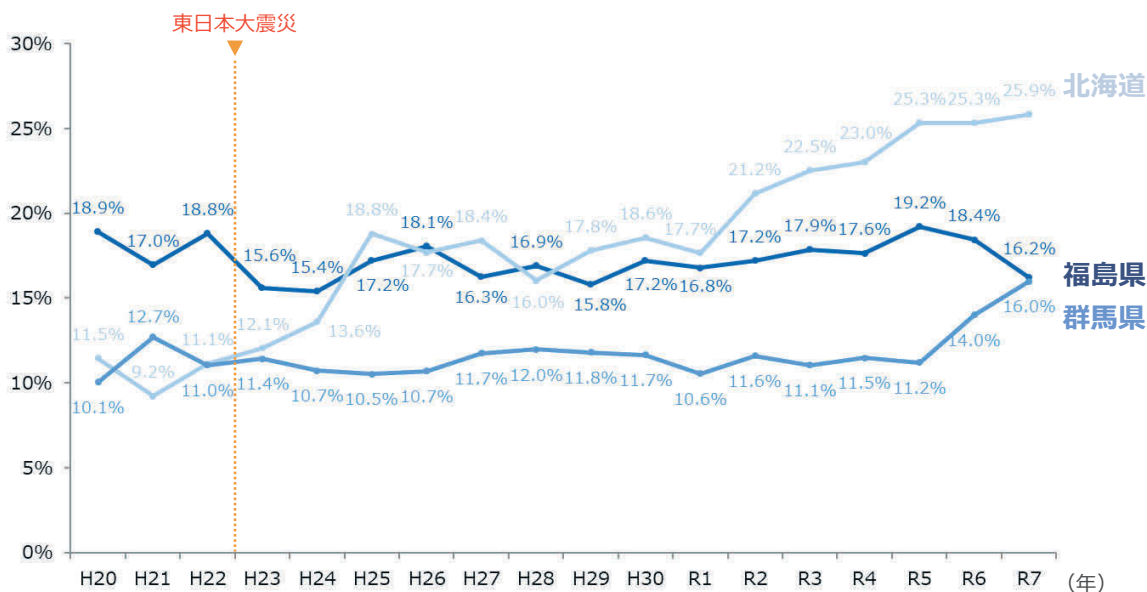
※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。

479

東京都中央卸売市場における福島県産トマトのシェアの推移

**東京都中央卸売市場における8月の福島県産トマトのシェアは、震災後に微減したが、回復し、概ね横ばいで推移していた。令和6年以降、群馬県産のシェアは拡大したが、福島県産は減少している。北海道産のシェアは震災後に拡大し、福島県産を上回った。**

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合道県産のシェア(8月)



データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

480

東京都中央卸売市場における福島県産トマトの単価の推移

東京都中央卸売市場における8月の福島県産トマトの平均単価は、震災後に下落し、群馬県産と価格ポジションが逆転したが、平成25年以降は再び逆転し、価格差を広げている。近年北海道産との価格差は縮小し、令和7年は3円/kgの差であった。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合道県産の平均単価(8月)



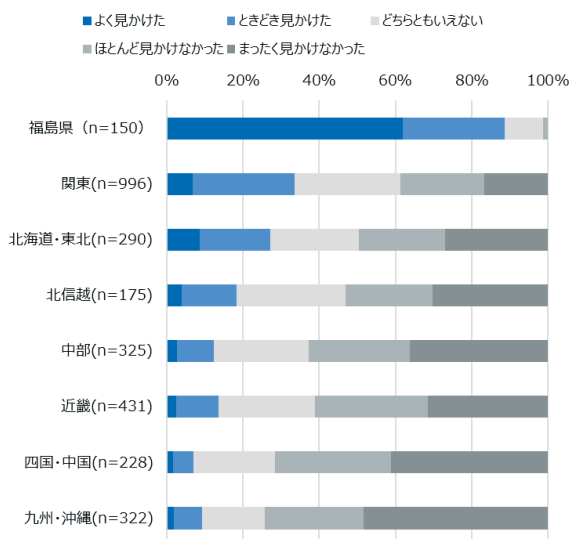
データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

481

福島県産トマトを見た経験と購入経験（消費者アンケート）

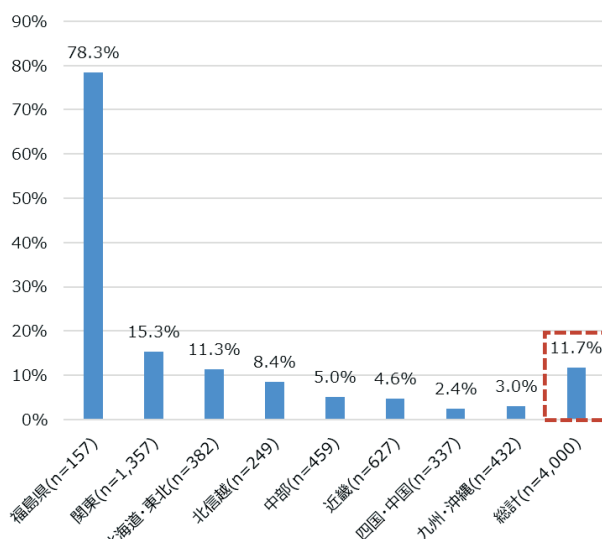
福島県産トマトを店頭でよく見かけた人の割合は、福島県が最も高く、他の地域では10%に満たない。福島県産トマトを購入したことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では11.7%であった。

福島県産トマトを店頭で見かけたか



※過去1～2年に、店頭で福島県産トマトを見た記憶を尋ねた。  
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産トマトの購入経験率



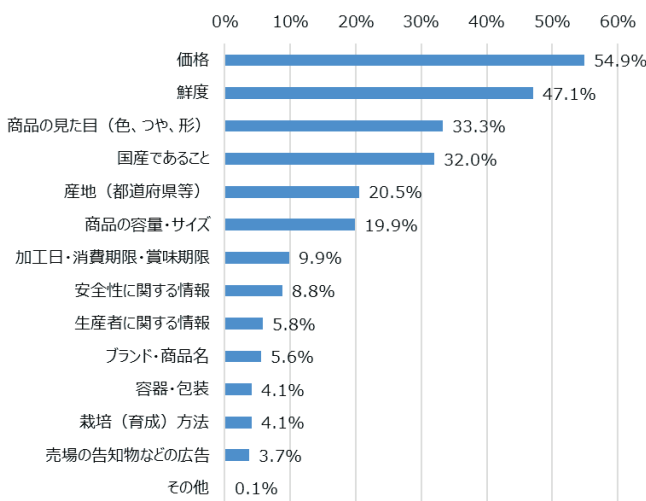
※購入経験率=1度でも購入したことがある人数/回答者数  
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていたら購入経験なしとなる。

482

トマト購入時の重視点と福島県産トマトの購入者の評価（消費者アンケート）

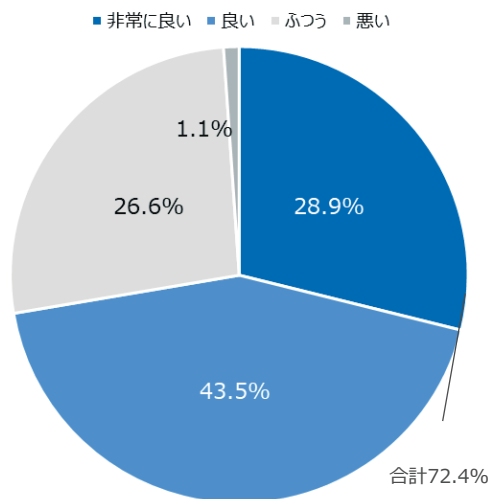
**福島県産に限らずトマト購入時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがった。福島県産トマトの購入者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が72.4%であった。**

トマト購入時の重視点（n=3,356、複数回答）



※トマト購入時の重視点は、福島県産に限らない質問。  
 ※月に1回以上トマトを購入している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産トマトの購入者の評価（n=467）

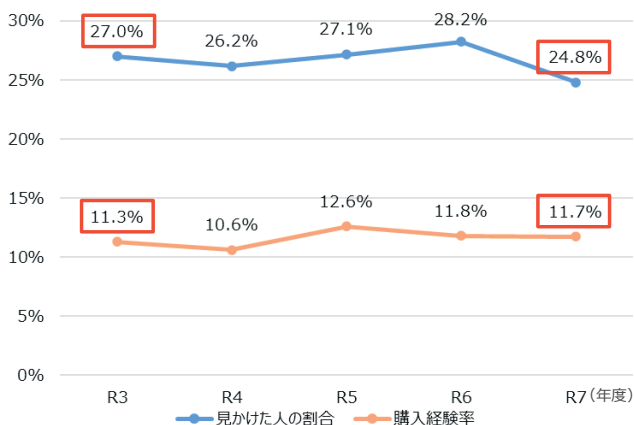


※福島県産トマトを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。  
 ※「非常に悪い」という選択肢も設けていたが選択した者はいなかった。

福島県産トマトを見た経験、購入経験と購入者の評価（消費者アンケート・経年比較）

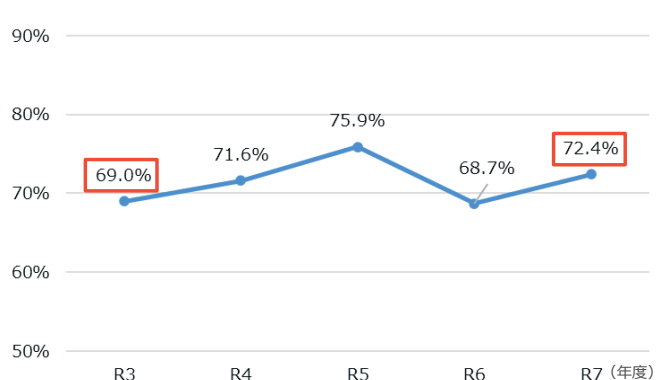
**令和3年度と令和7年度を比較すると、福島県産トマトを店頭で見かけた人の割合は2.2%下降、購入経験率は0.4%上昇した。福島県産トマトの評価として「非常に良い」または「良い」と回答した人の割合は3.4%上昇した。**

福島県産トマトを見かけた人の割合、購入経験率



※見かけた人の割合は過去1～2年に、店頭で福島県産トマトを見た記憶を尋ねたもので、「よく見かけた」、「ときどき見かけた」を選択した者の割合の合計値。  
 ※見かけた人の割合のnはR3:7,865、R4:3,665、R5:2,903、R6:2,633、R7:2,917。  
 nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。  
 ※購入経験率=1度でも購入したことがある人数/回答者数  
 記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。  
 ※購入経験率のnはR3:11,000、R4:5,500、R5:4,000、R6:4,000、R7:4,000。

福島県産トマトを高く評価している人の割合

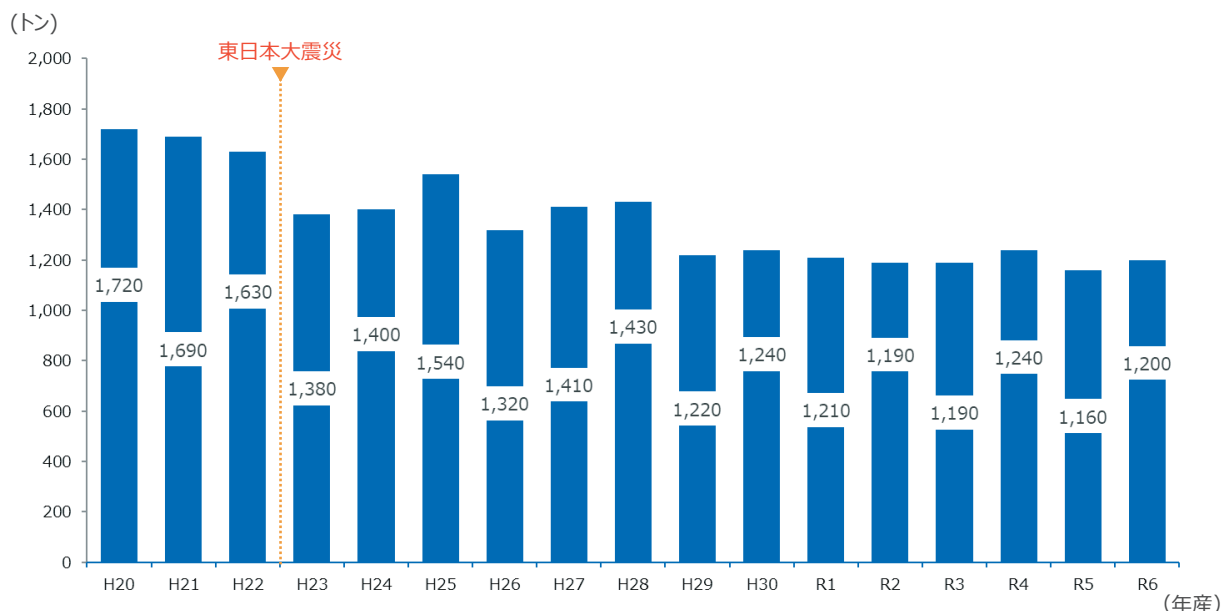


※福島県産トマトを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。  
 ※グラフ上の数値は「非常に良い」、「良い」を選択した者の割合の合計値。  
 ※nはR3:1,248、R4:584、R5:502、R6:470、R7:467。

## 福島県産アスパラガスの出荷量の推移

福島県産アスパラガスの出荷量は、震災直後に減少し、平成29年産以降、ほぼ横ばいの傾向であり、現在も震災前の水準に回復していない。

福島県産アスパラガスの出荷量の推移



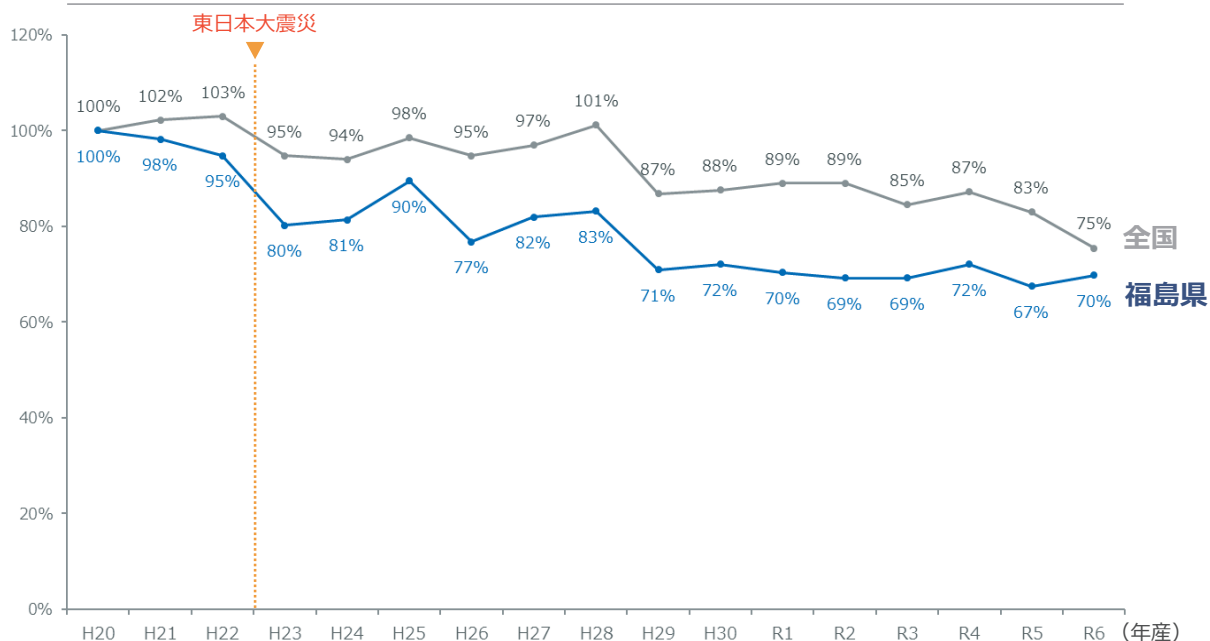
データ出所：農林水産省「野菜生産出荷統計」

485

## 全国・福島県産アスパラガスの出荷量の推移

全国のアスパラガスの出荷量は、平成20年産より2割以上減少し推移している。福島県産アスパラガスの出荷量は、震災直後と平成29年産で大きく減少した。平成29年産以降は全国の出荷量が減少傾向にある一方で、福島県産は概ね横ばいで推移している。

全国・福島県産アスパラガスの出荷量の推移(平成20年産を100%とした値)

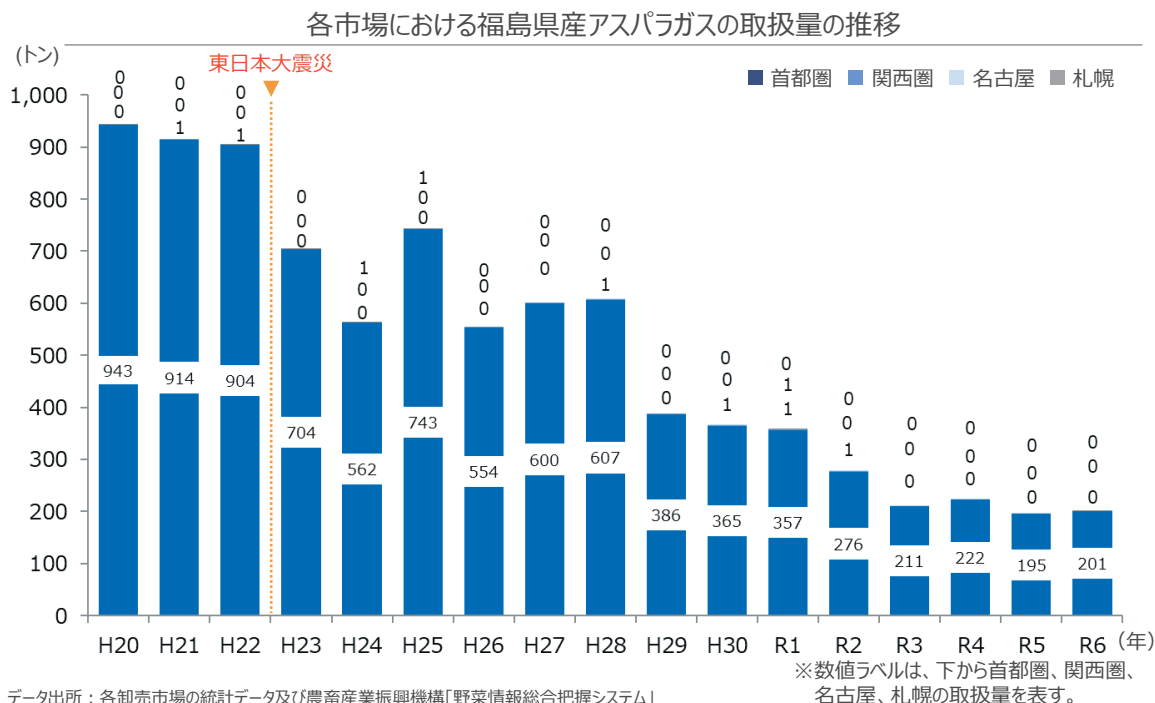


データ出所：農林水産省「野菜生産出荷統計」

486

各市場における福島県産アスパラガスの取扱量の推移

主要4地域の市場における福島県産アスパラガスは、ほとんどが首都圏で取り扱われており、関西圏や他地域での取扱いは極めて少量である。震災以降、首都圏での取扱量は段階的に減っているが、近年は概ね横ばいで推移している。



各市場におけるアスパラガスの産地リレー(令和6年産・首都圏)

東京都中央卸売市場では3月～10月にかけて福島県産アスパラガスの取扱いがある(3月は1%に満たない数量)が、いずれの月もシェアは4位以下であった。横浜市中央卸売市場では5・7月に福島県産アスパラガスのシェアが10%程度であった。

各市場における産地リレー(令和6年産)

各月で市場シェア1位～3位の順に

■ 色付け

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	5%	7%	3%	6%	6%	6%	1%	0%	0%	153
栃木	1%	5%	7%	26%	21%	14%	30%	36%	31%	16%	0%	0%	814
メキシコ	70%	52%	38%	22%	5%	3%	0%	0%	7%	36%	62%	79%	722
佐賀	5%	20%	23%	9%	6%	28%	24%	15%	13%	9%	0%	0%	624
長崎	0%	6%	16%	9%	2%	12%	14%	11%	8%	7%	1%	0%	368
山形	0%	0%	0%	3%	14%	6%	5%	8%	7%	1%	0%	0%	201
総量	78	230	474	494	486	430	537	505	327	183	109	84	

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	6%	10%	4%	9%	8%	7%	5%	0%	0%	48
佐賀	7%	29%	24%	7%	6%	32%	22%	14%	16%	21%	0%	0%	146
メキシコ	71%	53%	41%	22%	1%	1%	1%	0%	3%	31%	68%	84%	128
熊本	0%	6%	16%	23%	5%	15%	18%	19%	16%	12%	0%	0%	125
栃木	0%	0%	0%	18%	16%	8%	16%	21%	23%	6%	0%	0%	111
秋田	22%	4%	0%	5%	26%	8%	12%	13%	10%	2%	0%	2%	85
総量	11	35	89	111	106	100	128	116	81	43	19	12	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。 488

各市場におけるアスパラガスの産地リレー(令和6年産・関西圏)

**福島県産アスパラガスの取扱いは、大阪市中央卸売市場では年間を通してほとんど見られなかった。京都市中央卸売市場では年間を通して見られなかった。**

各市場における産地リレー(令和6年産)

大阪市中央卸売市場		各月で市場シェア1位～3位の順に ■ ■ ■ で色付け												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0	
長崎	2%	26%	50%	39%	15%	45%	54%	52%	39%	30%	5%	0%	183	
メキシコ	56%	43%	21%	15%	15%	13%	0%	0%	4%	31%	42%	31%	69	
福岡	0%	23%	15%	1%	9%	15%	11%	6%	18%	0%	0%	0%	47	
香川	0%	0%	0%	2%	1%	0%	2%	1%	12%	28%	48%	69%	43	
島根	0%	0%	6%	14%	5%	4%	6%	6%	7%	6%	2%	0%	27	
総量	5	19	51	36	38	71	78	59	45	30	25	20		

京都市中央卸売市場		各月で市場シェア1位～3位の順に ■ ■ ■ で色付け												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0	
福岡	0%	30%	41%	39%	21%	40%	42%	40%	41%	35%	4%	0%	111	
佐賀	27%	27%	22%	17%	18%	27%	28%	28%	29%	39%	23%	0%	76	
熊本	0%	1%	5%	13%	8%	7%	9%	14%	9%	6%	1%	0%	25	
愛媛	0%	9%	6%	10%	10%	10%	10%	7%	8%	6%	0%	0%	25	
メキシコ	68%	27%	6%	5%	0%	0%	0%	0%	3%	10%	69%	100%	19	
総量	3	14	46	33	28	42	49	39	26	16	5	3		

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。489

各市場におけるアスパラガスの産地リレー(令和6年産・その他)

**福島県産アスパラガスの取扱いは、名古屋市中央卸売市場では年間を通してほとんど見られなかった。札幌市中央卸売市場では年間を通して見られなかった。**

各市場における産地リレー(令和6年産)

名古屋市中央卸売市場		各月で市場シェア1位～3位の順に ■ ■ ■ で色付け												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0	
長野	6%	1%	4%	51%	64%	37%	34%	48%	49%	24%	0%	1%	275	
熊本	0%	13%	25%	12%	8%	33%	37%	24%	16%	14%	1%	0%	155	
メキシコ	91%	72%	42%	16%	5%	4%	0%	0%	7%	32%	86%	97%	142	
愛知	0%	4%	8%	6%	3%	6%	9%	10%	10%	7%	1%	0%	53	
佐賀	0%	2%	8%	4%	4%	6%	7%	5%	6%	3%	0%	0%	38	
総量	12	35	78	94	97	89	115	97	66	41	20	16		

札幌市中央卸売市場		各月で市場シェア1位～3位の順に ■ ■ ■ で色付け												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0	
北海道	34%	5%	16%	82%	100%	98%	92%	100%	60%	0%	0%	7%	386	
メキシコ	65%	81%	71%	15%	0%	0%	0%	0%	30%	85%	82%	86%	105	
熊本	0%	6%	6%	2%	0%	2%	7%	0%	4%	3%	0%	0%	12	
福岡	0%	5%	4%	1%	0%	0%	0%	0%	3%	2%	0%	0%	5	
オーストラリア	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	10%	18%	7%	4	
総量	4	22	55	102	125	72	39	48	19	14	8	7		

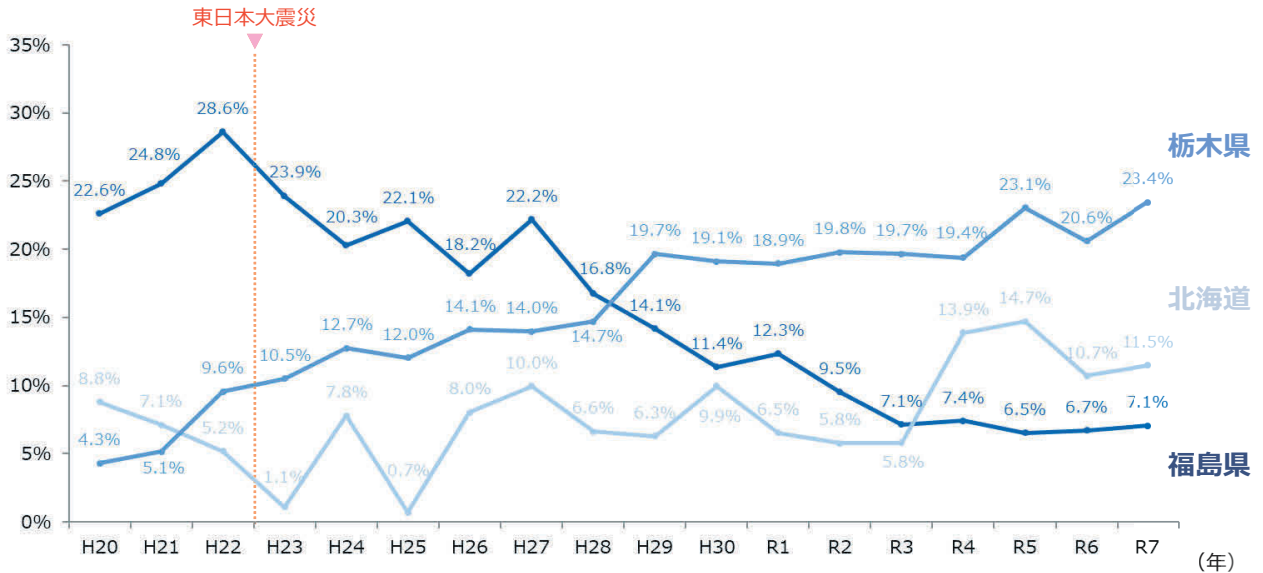
データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。

東京都中央卸売市場における福島県産アスパラガスのシェアの推移

**東京都中央卸売市場における5月の福島県産アスパラガスのシェアは、震災以降、徐々に縮小しており、平成29年以降は栃木県産、令和4年以降は北海道産を下回るようになり、その後概ね横ばいで推移している。**

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合道県産のシェア(5月)

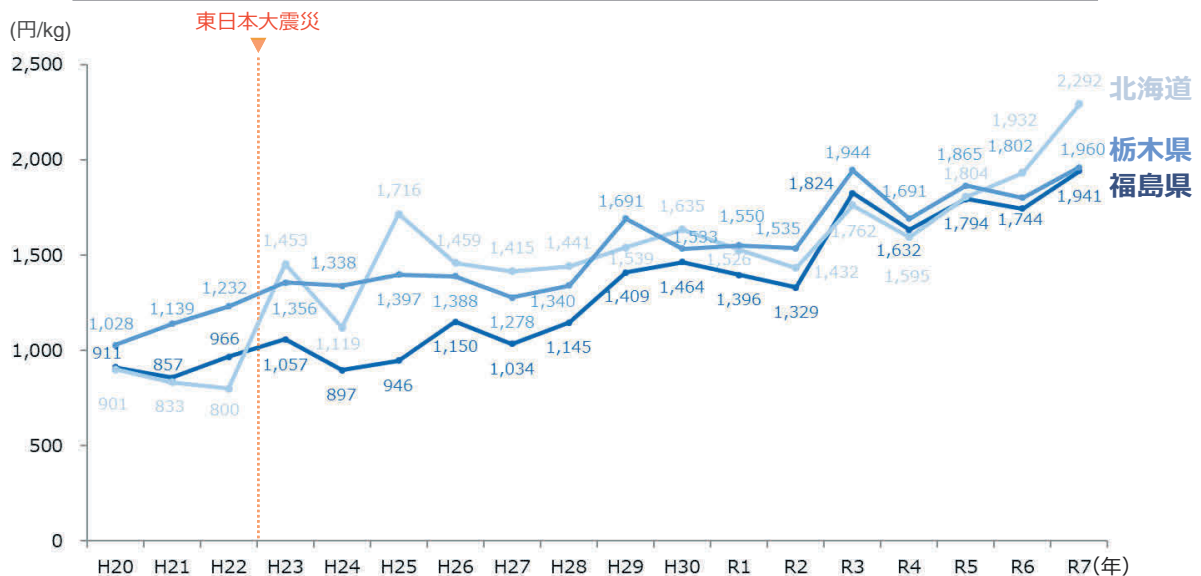


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

東京都中央卸売市場における福島県産アスパラガスの単価の推移

**東京都中央卸売市場における5月の福島県産アスパラガスの平均単価は、震災前から概ね継続して上昇しており、栃木県産との価格差は縮小しつつある。ただし、未だ栃木県産・北海道産よりも低い水準となっており、令和7年は北海道産との価格差が拡大した。**

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合道県産の平均単価(5月)

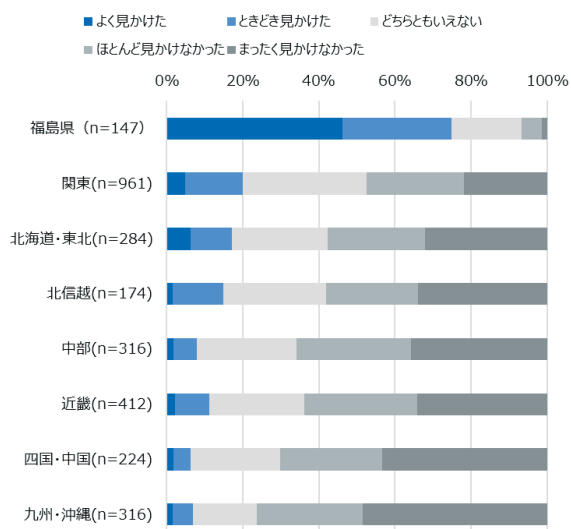


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

## 福島県産アスパラガスを見た経験と購入経験（消費者アンケート）

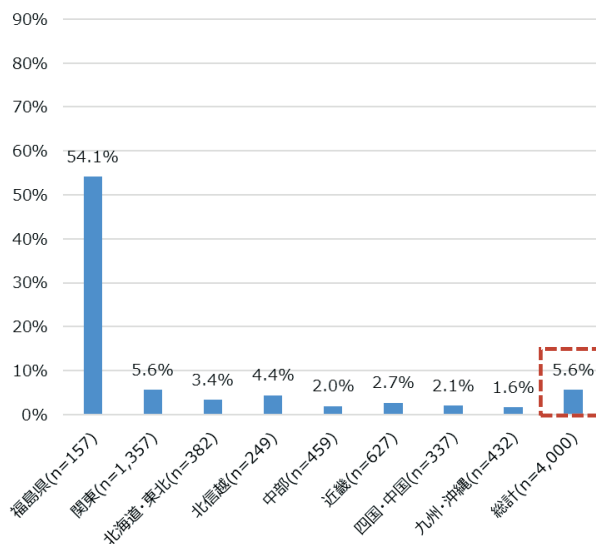
**福島県産アスパラガスを店頭でよく見かけた人の割合は、福島県が最も高く、他の地域では10%に満たない。福島県産アスパラガスを購入したことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では5.6%であった。**

福島県産アスパラガスを店頭で見かけたか



※過去1～2年に、店頭で福島県産アスパラガスを見た記憶を尋ねた。  
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産アスパラガスの購入経験率



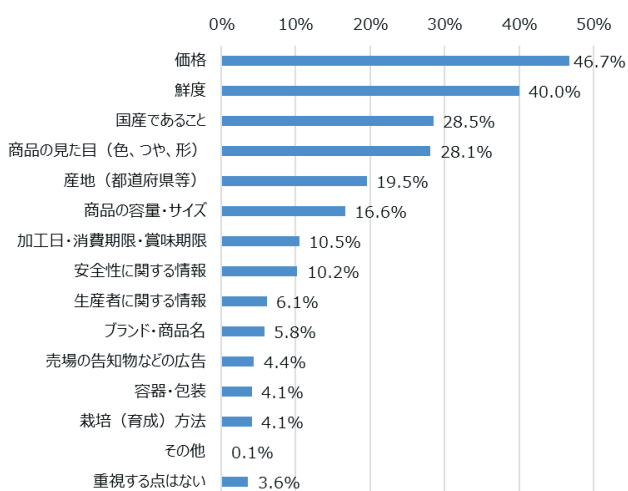
※購入経験率=1度でも購入したことがある人数/回答者数  
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていない場合は購入経験なしとなる。

493

## アスパラガス購入時の重視点と福島県産アスパラガスの購入者の評価（消費者アンケート）

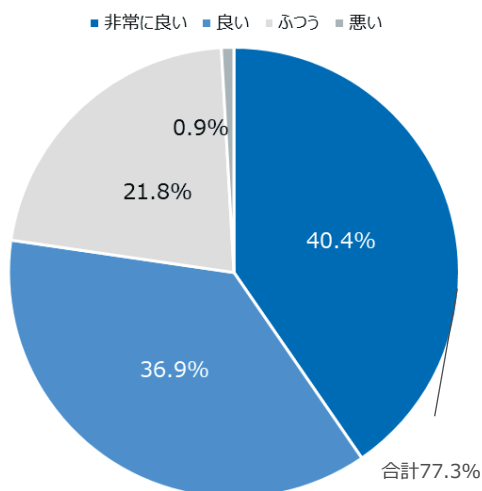
**福島県産に限らずアスパラガス購入時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがった。福島県産アスパラガスの購入者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が77.3%であった。**

アスパラガス購入時の重視点 (n=1,980、複数回答)



※アスパラガス購入時の重視点は、福島県産に限らない質問。  
※月に1回以上アスパラガスを購入している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産アスパラガスの購入者の評価 (n=225)



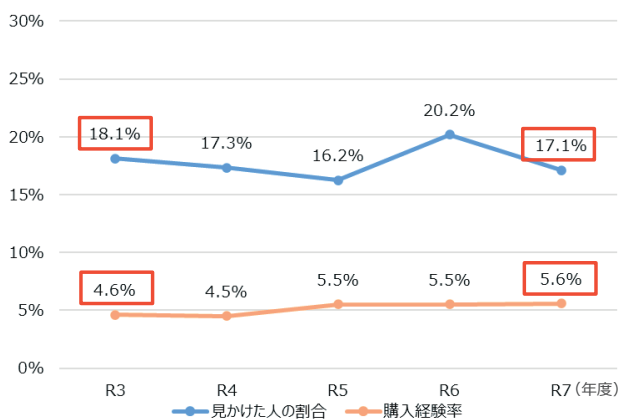
※福島県産アスパラガスを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。  
※「非常に悪い」という選択肢も設けていたが選択した者はいなかった。

494

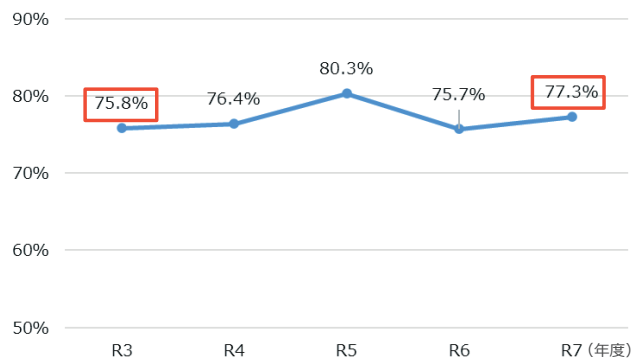
福島県産アスパラガスを見た経験、購入経験と購入者の評価（消費者アンケート・経年比較）

令和3年度と令和7年度を比較すると、福島県産アスパラガスを店頭で見かけた人の割合は1.0%下降、購入経験率は1.0%上昇した。福島県産アスパラガスの評価として「非常に良い」または「良い」と回答した人の割合は1.5%上昇した。

福島県産アスパラガスを見かけた人の割合、購入経験率



福島県産アスパラガスを高く評価している人の割合



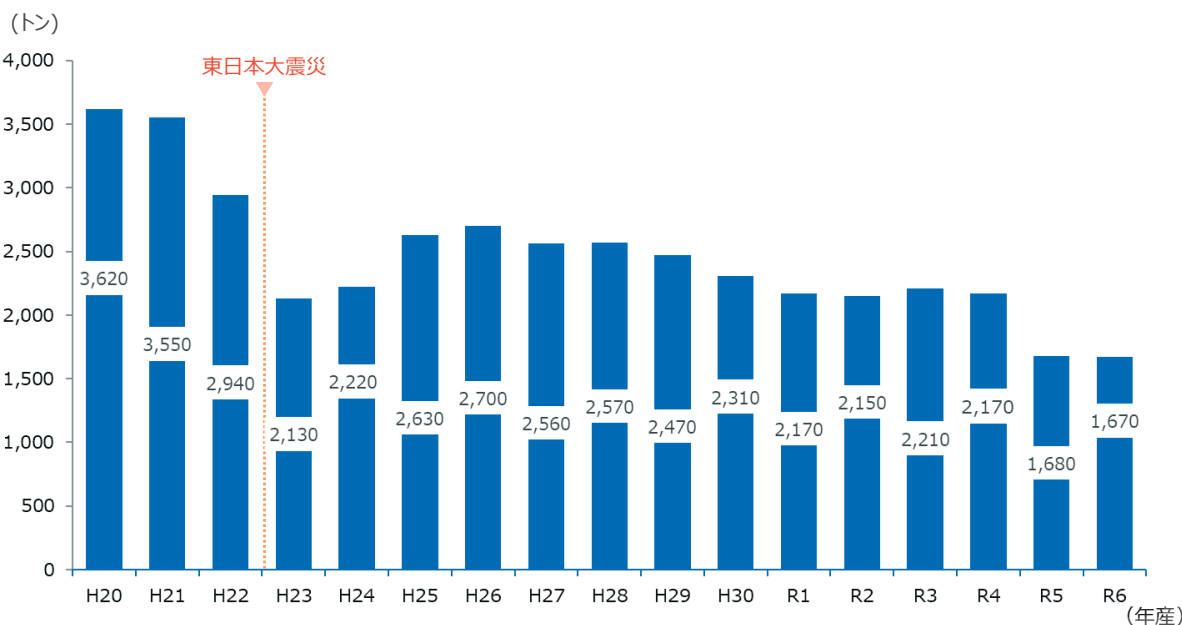
※見かけた人の割合は過去1～2年に、店頭で福島県産アスパラガスを見た記憶を尋ねたもので、「よく見かけた」、「ときどき見かけた」を選択した者の割合の合計値。  
 ※見かけた人の割合のnはR3:7,548、R4:3,493、R5:2,752、R6:2,528、R7:2,834。  
 nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。  
 ※購入経験率=1度でも購入したことがある人数/回答者数  
 記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていけば購入経験などとなる。  
 ※購入経験率のnはR3:11,000、R4:5,500、R5:4,000、R6:4,000、R7:4,000。

※福島県産アスパラガスを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。  
 ※グラフ上の数値は「非常に良い」、「良い」を選択した者の割合の合計値。  
 ※nはR2:473、R3:507、R4:250、R5:219、R6:218、R7:225。

福島県産さやいんげんの出荷量の推移

福島県産さやいんげんは、震災後に出荷量が減少した。平成25年産以降、出荷量は回復傾向にあったが、平成28年産以降は再び減少傾向となり、令和5年産に大幅に減少し、令和6年産は1,670トンとなった。

福島県産さやいんげんの出荷量の推移

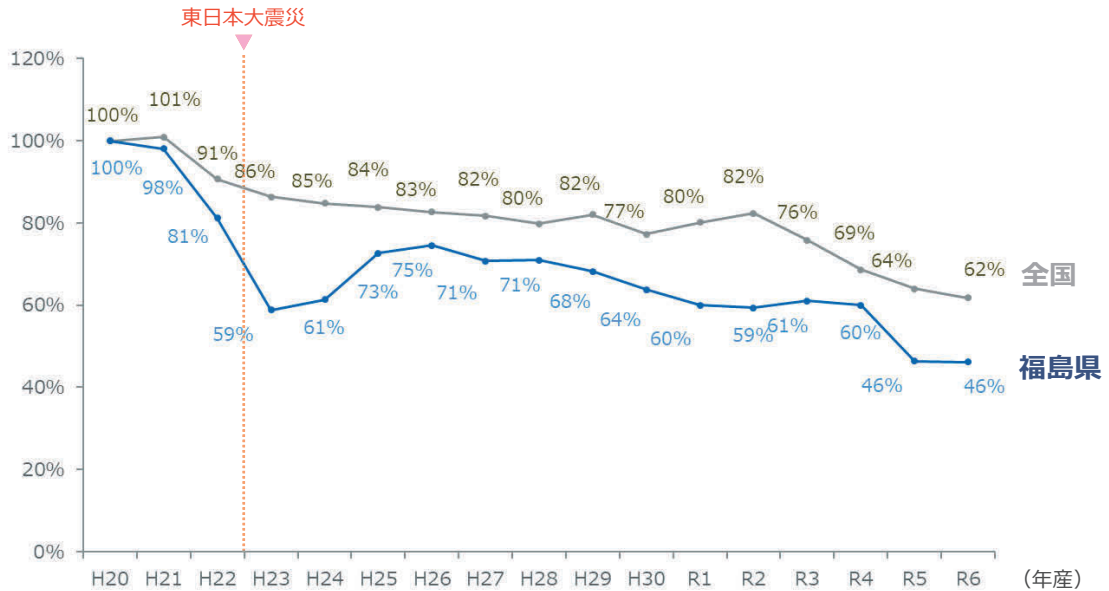


データ出所：農林水産省「野菜生産出荷統計」

全国・福島県産さやいんげんの出荷量の推移

全国のさやいんげんの出荷量は緩やかに減少している中で、福島県産さやいんげんは震災直後に出荷量が急減し、その後やや回復したが、平成28年産以降緩やかに減少した。令和5年産は大幅に減少し、令和6年産は平成20年産の46%となった。

全国・福島県産さやいんげんの出荷量の推移(平成20年産を100%とした値)

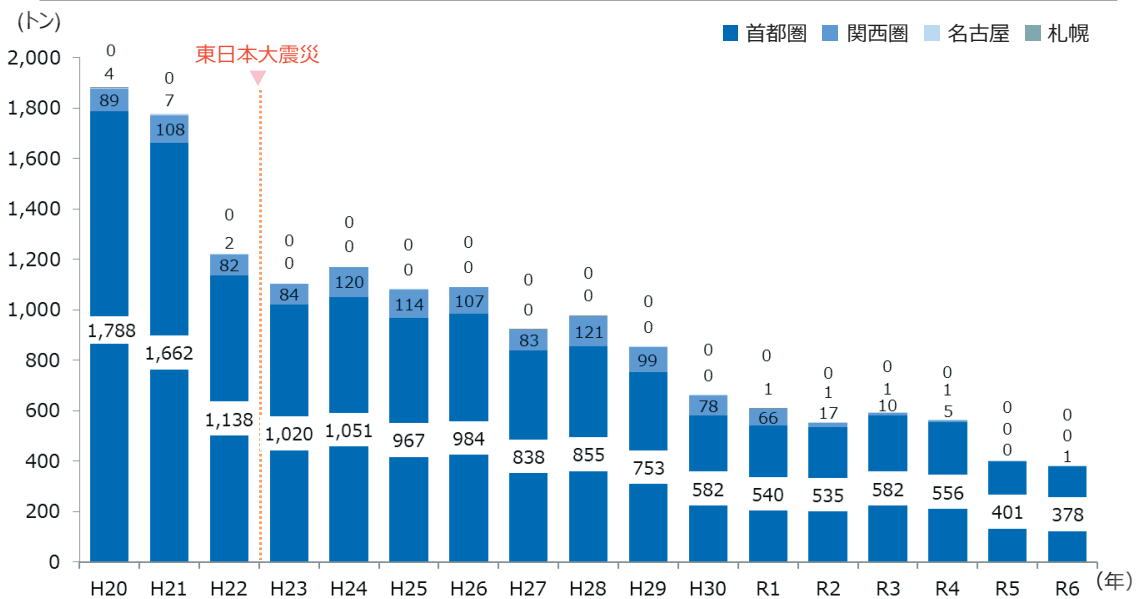


データ出所：農林水産省「野菜生産出荷統計」

各市場における福島県産さやいんげんの取扱量の推移

主要4地域の市場における福島県産さやいんげんは、主に首都圏で取り扱われているが、その取扱量は震災前から徐々に減少し、令和6年の首都圏での取扱量は、378トンであった。

各市場における福島県産さやいんげんの取扱量の推移



※数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、名古屋、札幌の取扱量を表す。

データ出所：各卸売市場統計のデータ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

各市場におけるさやいんげんの産地別シェア(令和6年産・首都圏)

**福島県産さやいんげんのシェアは、東京都中央卸売市場では7月～10月、横浜市中心卸売市場では7月～9月は1位であった。**

各市場における産地別シェア(令和6年産)

東京都中央卸売市場

各月で市場シェア1位～3位の順に  
■ ■ ■ で色付け

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	4%	3%	3%	4%	3%	9%	57%	42%	39%	26%	7%	2%	311
沖縄	65%	69%	70%	50%	3%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	35%	431
鹿児島	10%	5%	5%	27%	30%	13%	0%	0%	1%	17%	39%	46%	282
千葉	1%	0%	1%	12%	39%	31%	2%	0%	0%	3%	10%	2%	199
茨城	0%	0%	0%	2%	10%	31%	15%	1%	3%	15%	6%	1%	168
長崎	1%	0%	1%	4%	14%	11%	1%	0%	0%	6%	31%	13%	132
総量	152	175	159	116	198	256	208	128	114	126	152	97	

横浜市中心卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	1%	7%	53%	53%	47%	28%	5%	0%	67
沖縄	79%	80%	83%	54%	5%	2%	0%	1%	1%	1%	0%	30%	100
鹿児島	10%	7%	7%	32%	38%	11%	0%	0%	10%	10%	52%	62%	71
茨城	0%	0%	0%	0%	17%	63%	24%	0%	2%	9%	8%	0%	66
千葉	0%	0%	0%	12%	34%	8%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	24
山形	0%	0%	0%	0%	2%	4%	1%	0%	1%	34%	22%	2%	21
総量	29	33	32	24	46	64	53	26	24	27	32	20	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。

499

各市場におけるさやいんげんの産地別シェア(令和6年産・関西圏)

**大阪市中央卸売市場・京都市中央卸売市場共に、年間を通して福島県産さやいんげんの取扱いがほとんど見られなかった。**

各市場における産地別シェア(令和6年産)

大阪市中央卸売市場

各月で市場シェア1位～3位の順に  
■ ■ ■ で色付け

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	5%	0%	0%	0%	0%	0%	1
鹿児島	19%	22%	18%	80%	96%	65%	0%	0%	5%	39%	82%	86%	81
オマーン	73%	75%	72%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	56
北海道	2%	0%	0%	0%	0%	2%	29%	61%	67%	38%	1%	0%	22
愛媛	0%	0%	0%	0%	0%	22%	13%	1%	1%	2%	1%	0%	8
長野	0%	0%	0%	0%	0%	3%	39%	14%	6%	0%	0%	0%	8
総量	20	30	27	8	16	28	14	11	9	10	15	11	

京都市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
鹿児島	24%	11%	11%	40%	57%	30%	3%	0%	2%	32%	68%	54%	70
沖縄	23%	32%	51%	30%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	10%	29
その他	35%	44%	25%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	21
熊本	8%	4%	5%	15%	22%	8%	1%	0%	0%	7%	13%	14%	21
高知	9%	9%	8%	16%	13%	13%	4%	0%	0%	1%	4%	14%	19
総量	19	21	21	18	26	28	12	7	6	12	28	12	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。

500

**福島県産さやいんげんの取扱いは、名古屋市中央卸売市場では年間を通してほとんど見られなかった。札幌市中央卸売市場では年間を通して見られなかった。**

各市場における産地別シェア(令和6年産)

市場	各月で市場シェア1位~3位の順に												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
名古屋市中央卸売市場													
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
鹿児島	53%	49%	47%	71%	77%	34%	0%	0%	0%	34%	76%	72%	98
長野	0%	0%	0%	0%	0%	6%	77%	76%	55%	24%	1%	0%	39
沖縄	24%	25%	18%	14%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	11%	15
徳島	0%	0%	0%	0%	0%	26%	13%	0%	7%	16%	7%	0%	15
和歌山	0%	0%	0%	2%	14%	18%	1%	0%	0%	9%	10%	5%	14
総量	17	16	18	15	23	25	18	14	15	16	28	13	
札幌市中央卸売市場													
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
北海道	0%	0%	0%	0%	55%	99%	100%	100%	100%	100%	40%	3%	44
高知	72%	69%	49%	60%	36%	1%	0%	0%	0%	0%	26%	62%	7
鹿児島	23%	12%	45%	36%	8%	0%	0%	0%	0%	0%	32%	34%	3
沖縄	0%	14%	0%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
オマーン	6%	5%	3%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
総量	2	2	2	1	2	9	9	11	7	6	2	1	

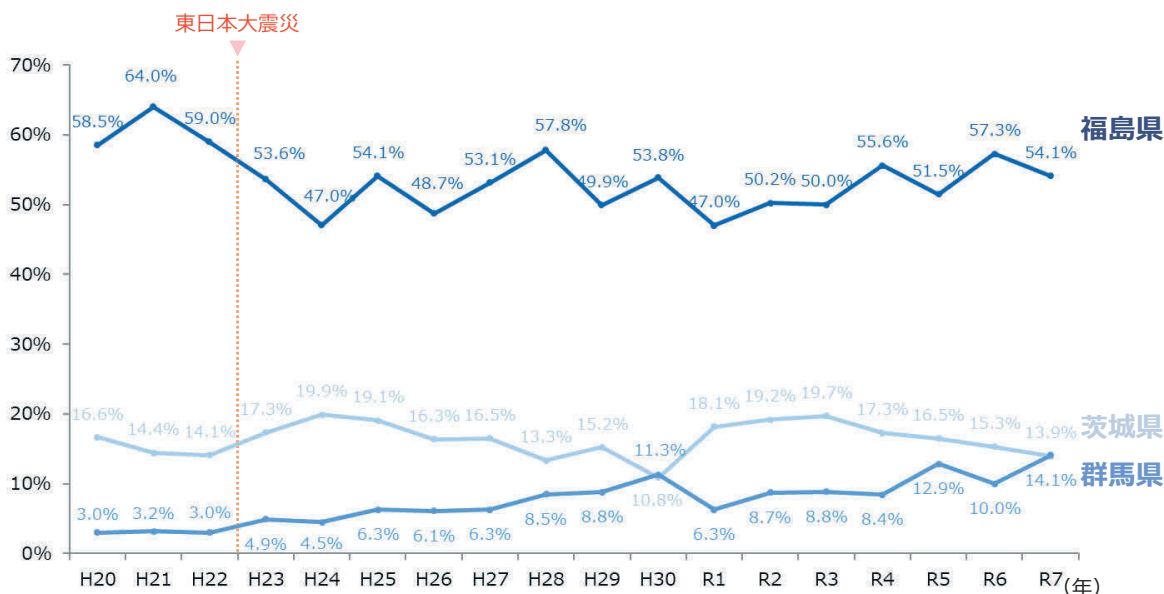
データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。 501

東京都中央卸売市場における福島県産さやいんげんのシェアの推移

**東京都中央卸売市場における7月の福島県産さやいんげんのシェアは、震災前から圧倒的に高く、震災後に縮小したものの、高い水準を維持しており、令和7年は54.1%となった。群馬県産・茨城県産のシェアとは約40%の差をつけシェア1位となっている。**

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(7月)

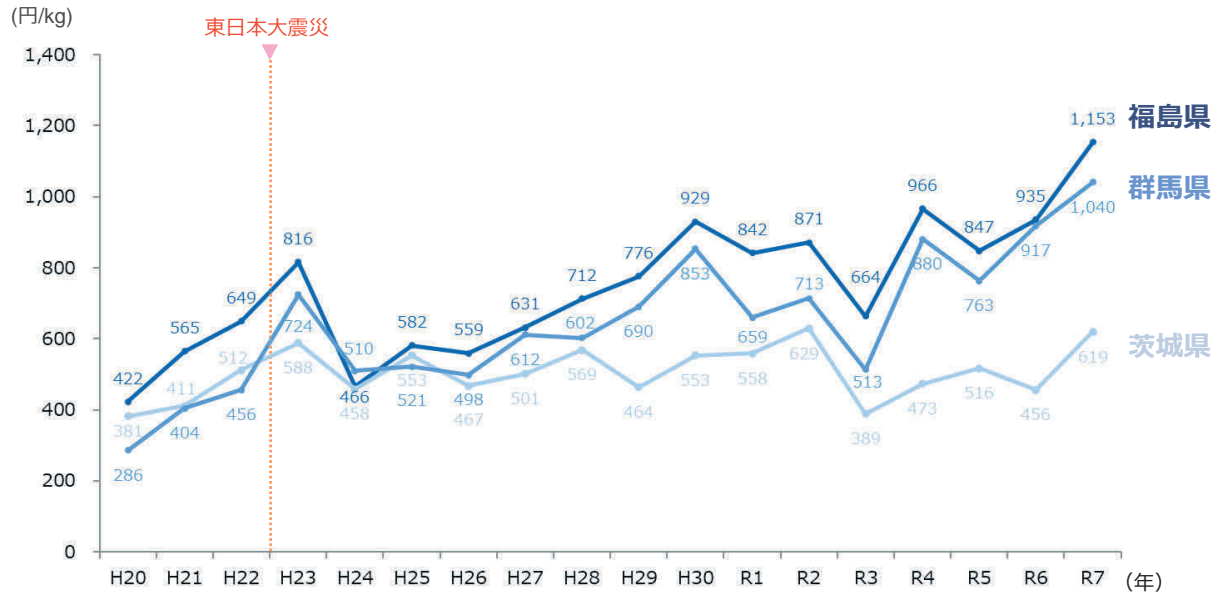


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

東京都中央卸売市場における福島県産さやいんげんの単価の推移

東京都中央卸売市場における7月の福島県産さやいんげんの平均単価は、平成24年に大幅に下落し、群馬県産・茨城県産と同程度の価格水準となった。平成25年以降は概ね上昇傾向で推移しており、両県を上回っている。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(7月)



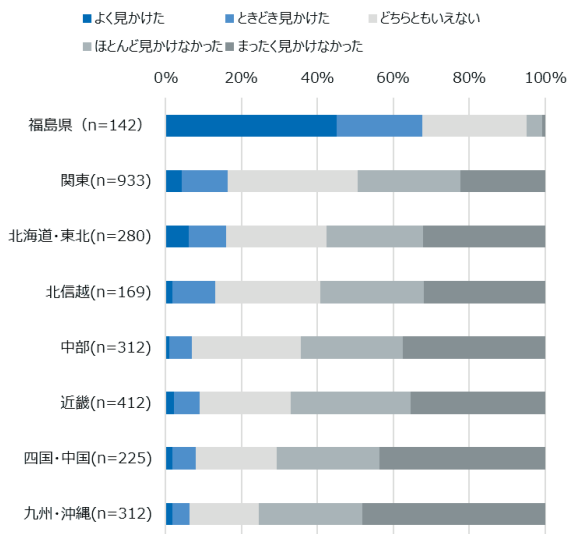
データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

503

福島県産さやいんげんを見た経験と購入経験（消費者アンケート）

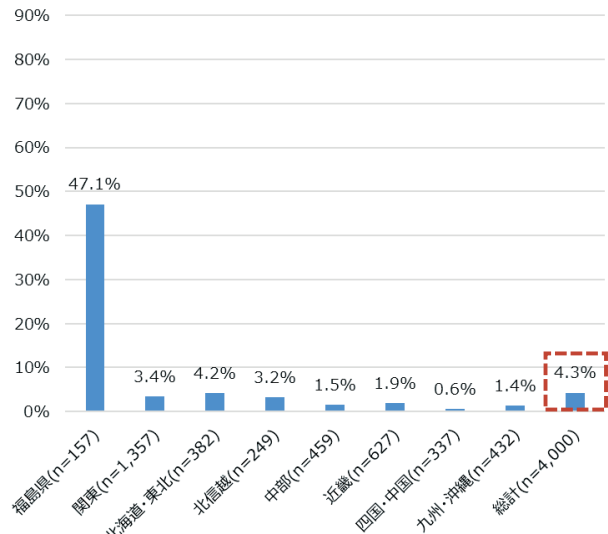
福島県産さやいんげんを店頭でよく見かけた人の割合は、福島県が最も高く、他の地域では10%に満たない。福島県産さやいんげんを購入したことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では4.3%であった。

福島県産さやいんげんを店頭で見かけたか



※過去1〜2年に、店頭で福島県産さやいんげんを見た記憶を尋ねた。  
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産さやいんげんの購入経験率



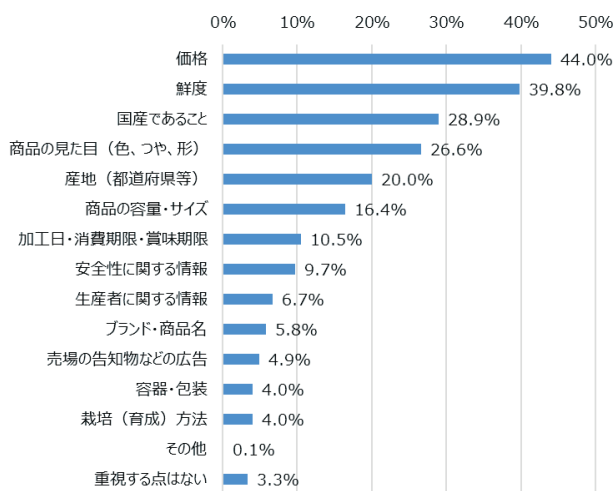
※購入経験率=1度でも購入したことがある人数/回答者数  
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていたら購入経験なしとなる。

504

さやいんげん購入時の重視点と福島県産さやいんげんの購入者の評価（消費者アンケート）

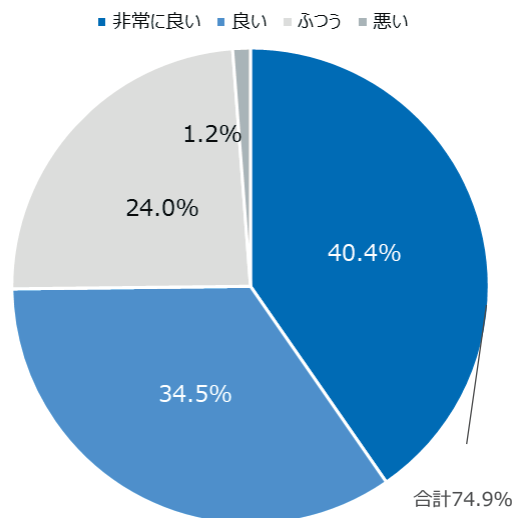
**福島県産に限らずさやいんげん購入時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがった。福島県産さやいんげんの購入者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が74.9%であった。**

さやいんげん購入時の重視点（n=1,659、複数回答）



※さやいんげん購入時の重視点は、福島県産に限らない質問。  
※月に1回以上さやいんげんを購入している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産さやいんげんの購入者の評価（n=171）

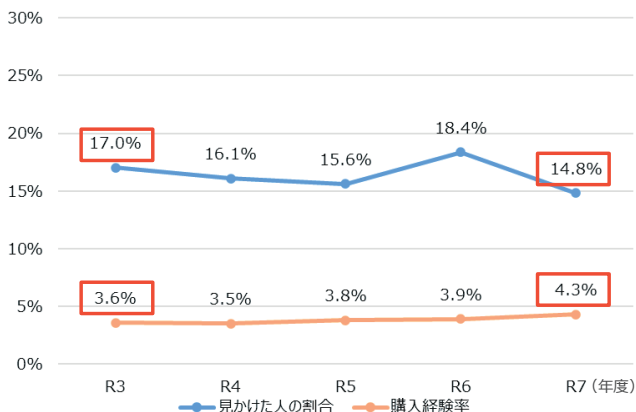


※福島県産さやいんげんを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。  
※「非常に悪い」という選択肢も設けていたが選択した者はいなかった。

福島県産さやいんげんを見た経験、購入経験と購入者の評価（消費者アンケート・経年比較）

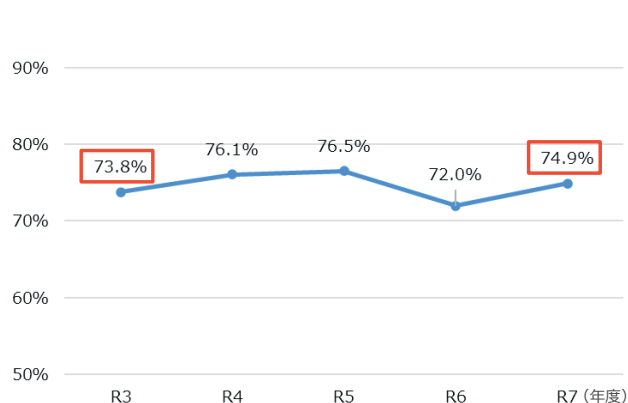
**令和3年度と令和7年度を比較すると、福島県産さやいんげんを店頭で見かけた人の割合は2.2%下降、購入経験率は0.7%上昇した。福島県産さやいんげんの評価として「非常に良い」または「良い」と回答した人の割合は1.1%上昇した。**

福島県産さやいんげんを見かけた人の割合、購入経験率



※見かけた人の割合は過去1～2年に、店頭で福島県産さやいんげんを見た記憶を尋ねたもので、「よく見かけた」、「ときどき見かけた」を選択した者の割合の合計値。  
※見かけた人の割合のnはR3:7,434、R4:3,398、R5:2,726、R6:2,495、R7:2,735。  
nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。  
※購入経験率=1度でも購入したことがある人数/回答者数  
記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。  
※購入経験率のnはR3:11,000、R4:5,500、R5:4,000、R6:4,000、R7:4,000。

福島県産さやいんげんを高く評価している人の割合

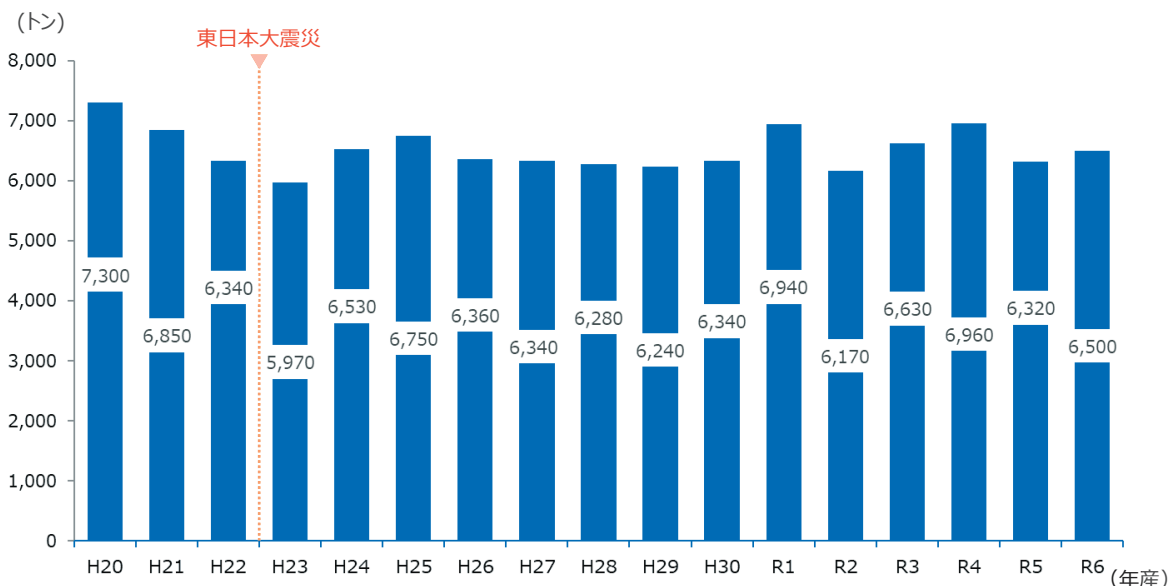


※福島県産さやいんげんを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。  
※グラフ上の数値は「非常に良い」、「良い」を選択した者の割合の合計値。  
※nはR2:333、R3:400、R4:193、R5:153、R6:157、R7:171。

### 福島県産ねぎの出荷量の推移

福島県産ねぎの出荷量は震災直後に減少したが、平成23年産から平成25年産にかけて徐々に増加し、平成26年産以降は、概ね横ばいで推移しており、令和6年産は、6,500トンとなった。

福島県産ねぎの出荷量の推移

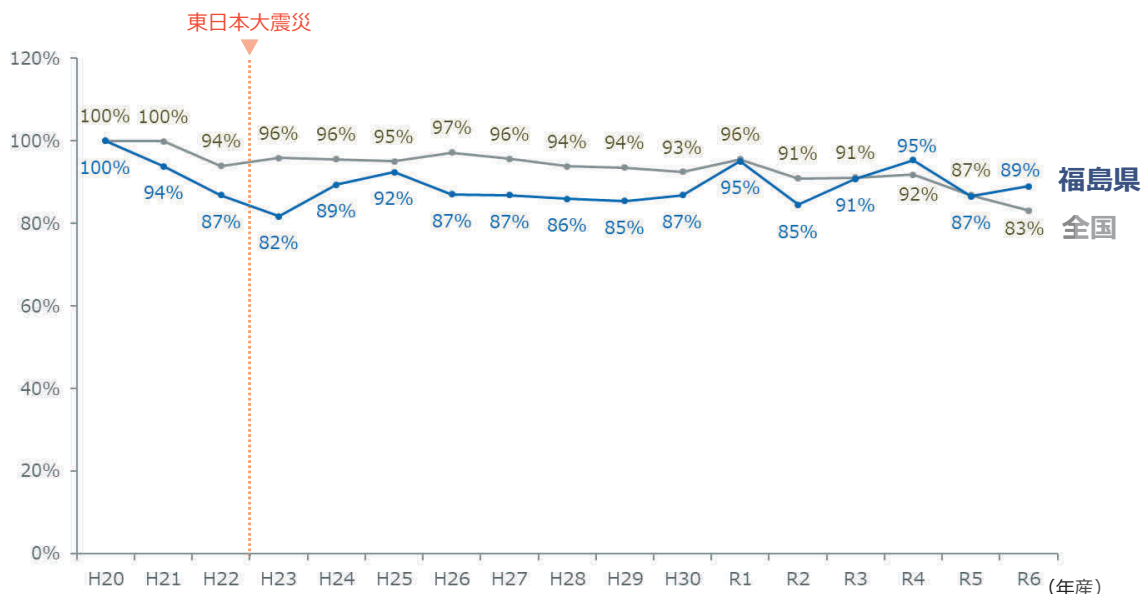


データ出所：農林水産省「野菜生産出荷統計」

### 全国・福島県産ねぎの出荷量の推移

全国のねぎの出荷量は、平成27年産以降、令和元年産を除いては緩やかな減少傾向にある。福島県産ねぎについては、平成27年産以降、令和元年産と令和4年産を除き、ほぼ横ばいで推移しており、令和6年産は全国の出荷量の水準を上回った。

全国・福島県産ねぎの出荷量の推移(平成20年産を100%とした値)

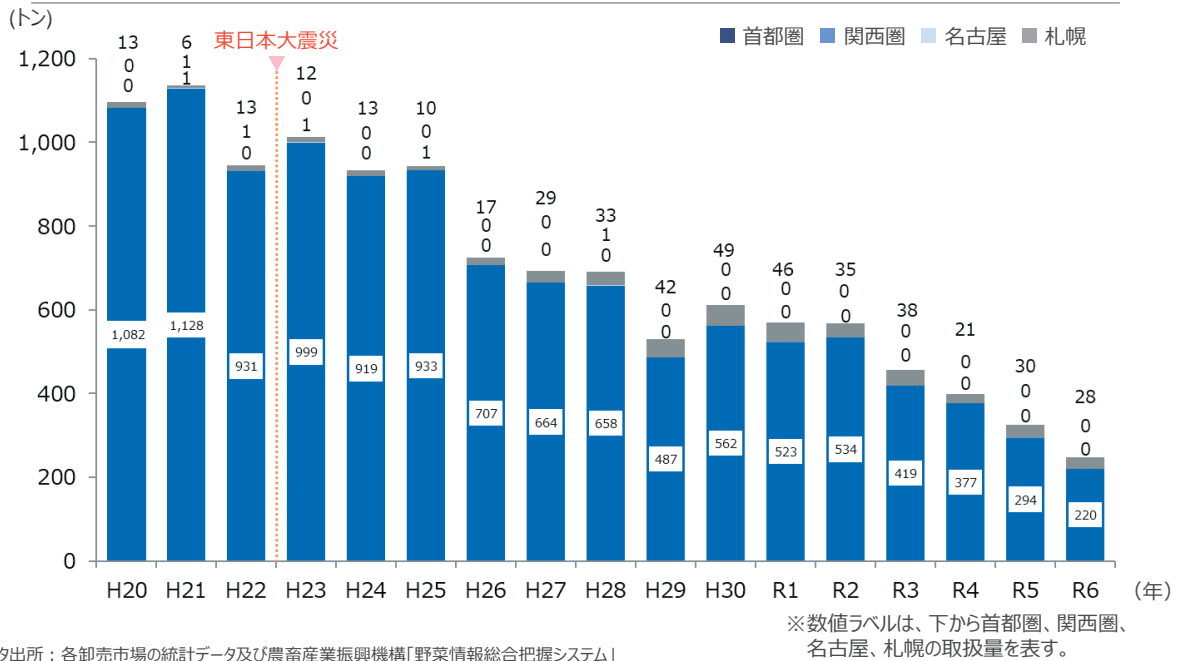


データ出所：農林水産省「野菜生産出荷統計」

各市場における福島県産ねぎの取扱量の推移

主要4地域の市場における福島県産のねぎは、ほとんどが首都圏で取り扱われている。震災以降、段階的に取扱量が減少しているが、特に令和3年以降は減少傾向が顕著であり、令和6年は平成20年以降で過去最低水準の約250トンとなった。

各市場における福島県産ねぎの取扱量の推移



データ出所：各卸売市場の統計データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

509

各市場におけるねぎの産地リレー(令和6年産・首都圏)

福島県産ねぎの取扱いは、東京都中央卸売市場、横浜市中央卸売市場のいずれにおいても年間を通して0～1%程度であった。

各市場における産地リレー(令和6年産)

市場	各月で市場シェア1位～3位の順に												合計	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
東京都中央卸売市場														
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	1%	200
茨城	26%	18%	17%	23%	56%	68%	59%	29%	8%	6%	12%	25%	13,375	
千葉	30%	37%	39%	36%	21%	20%	14%	3%	0%	1%	3%	17%	8,801	
埼玉	20%	22%	23%	21%	8%	3%	4%	2%	1%	1%	6%	16%	5,277	
秋田	1%	0%	0%	1%	1%	0%	6%	21%	25%	23%	23%	8%	4,708	
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	0%	6%	17%	28%	27%	10%	0%	3,795	
総量	4,627	4,087	3,874	3,501	3,645	3,422	3,366	3,675	3,868	4,968	4,930	5,145		
横浜市中央卸売市場														
福島	1%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	20	
千葉	47%	55%	54%	52%	25%	23%	13%	4%	3%	2%	6%	23%	1,801	
茨城	15%	7%	8%	13%	40%	51%	40%	21%	8%	7%	8%	19%	1,313	
秋田	0%	0%	0%	1%	3%	1%	6%	25%	27%	25%	29%	12%	781	
埼玉	12%	15%	21%	23%	18%	10%	8%	5%	3%	4%	5%	8%	757	
青森	0%	0%	0%	0%	0%	0%	9%	15%	24%	22%	9%	2%	480	
総量	645	621	583	512	529	472	511	531	549	653	668	754		

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。510

各市場におけるねぎの産地リレー(令和6年産・関西圏)

**福島県産ねぎの取扱いは、大阪市中央卸売市場、京都市中央卸売市場のいずれにおいても年間を通して見られなかった。**

各市場における産地リレー(令和6年産)

各月で市場シェア1位～3位の順に  
■ ■ ■ で色付け

大阪市中央卸売市場		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
鳥取	21%	18%	26%	29%	24%	23%	22%	18%	7%	6%	10%	11%	11%	1,426
北海道	3%	0%	1%	3%	0%	1%	19%	34%	46%	43%	15%	0%	0%	1,176
長野	1%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	23%	33%	33%	35%	17%	17%	1,154
群馬	29%	25%	18%	16%	5%	1%	1%	0%	0%	3%	13%	26%	26%	1,112
大分	12%	14%	16%	15%	11%	11%	4%	1%	0%	0%	0%	7%	7%	626
総量	862	756	725	609	530	458	484	546	683	900	939	989	989	

京都市中央卸売市場		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
京都	19%	18%	21%	24%	26%	28%	21%	17%	14%	15%	18%	18%	18%	572
鳥取	20%	17%	23%	27%	25%	23%	21%	19%	7%	8%	10%	12%	12%	512
大分	20%	23%	23%	21%	20%	22%	16%	17%	3%	4%	8%	21%	21%	490
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	0%	15%	24%	48%	43%	11%	0%	0%	324
滋賀	19%	23%	16%	9%	7%	2%	3%	6%	6%	4%	8%	10%	10%	306
総量	301	292	286	226	182	190	189	189	213	269	279	338	338	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。 511

各市場におけるねぎの産地リレー(令和6年産・その他)

**福島県産ねぎの取扱いは、名古屋市中央卸売市場では年間を通して見られなかった。札幌市中央卸売市場では年間を通してほとんど見られなかった。**

各市場における産地リレー(令和6年産)

各月で市場シェア1位～3位の順に  
■ ■ ■ で色付け

名古屋市中央卸売市場		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
大分	29%	34%	41%	42%	37%	35%	30%	5%	0%	0%	2%	16%	16%	1,807
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	0%	18%	37%	53%	49%	21%	0%	0%	1,388
長野	8%	3%	0%	1%	0%	0%	2%	24%	28%	28%	35%	31%	31%	1,351
茨城	7%	7%	7%	8%	20%	26%	26%	14%	6%	3%	4%	6%	6%	861
群馬	11%	10%	12%	9%	7%	1%	2%	1%	2%	3%	5%	13%	13%	579
総量	817	733	714	643	560	537	517	648	773	916	933	969	969	

札幌市中央卸売市場		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	2%	3%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	28
北海道	1%	0%	2%	2%	9%	44%	83%	98%	100%	100%	95%	16%	16%	4,120
茨城	21%	15%	14%	21%	63%	46%	12%	1%	0%	0%	0%	26%	26%	957
埼玉	39%	43%	50%	44%	14%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	26%	889
群馬	15%	15%	12%	10%	2%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	9%	9%	264
千葉	8%	7%	10%	12%	3%	3%	1%	0%	0%	0%	0%	4%	4%	199
総量	355	379	412	402	412	454	559	654	867	1,081	766	535	535	

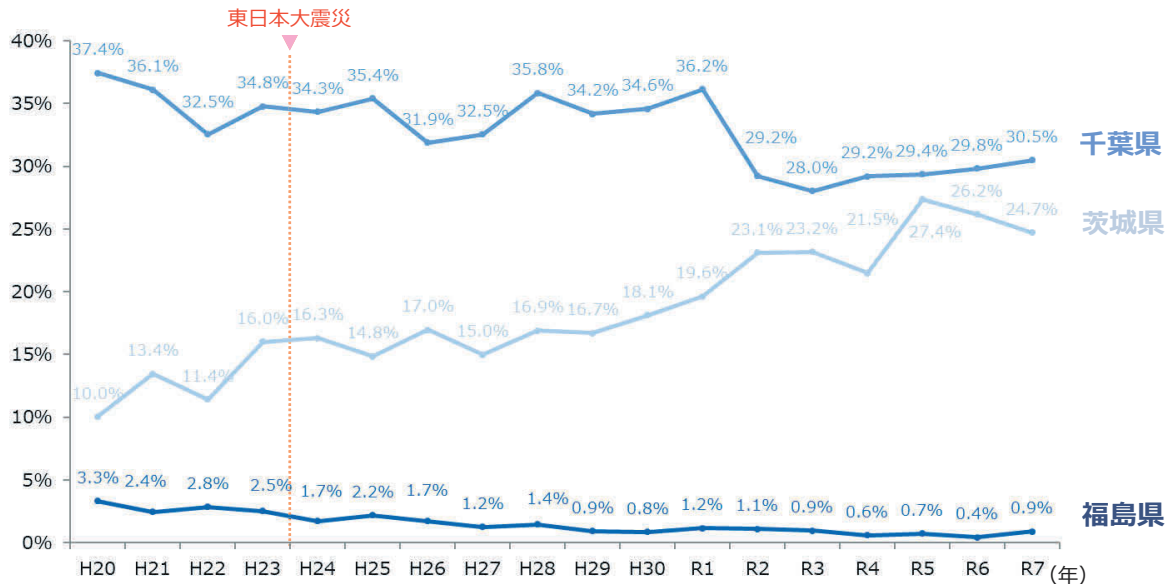
データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。

東京都中央卸売市場における福島県産ねぎのシェアの推移

**東京都中央卸売市場における1月の福島県産ねぎのシェアは、震災後、徐々に減少し、令和3年以降は1%を下回っている。近年、茨城県産のシェアが拡大傾向にあり、シェア1位の千葉県産のシェアに迫っている。**

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(1月)



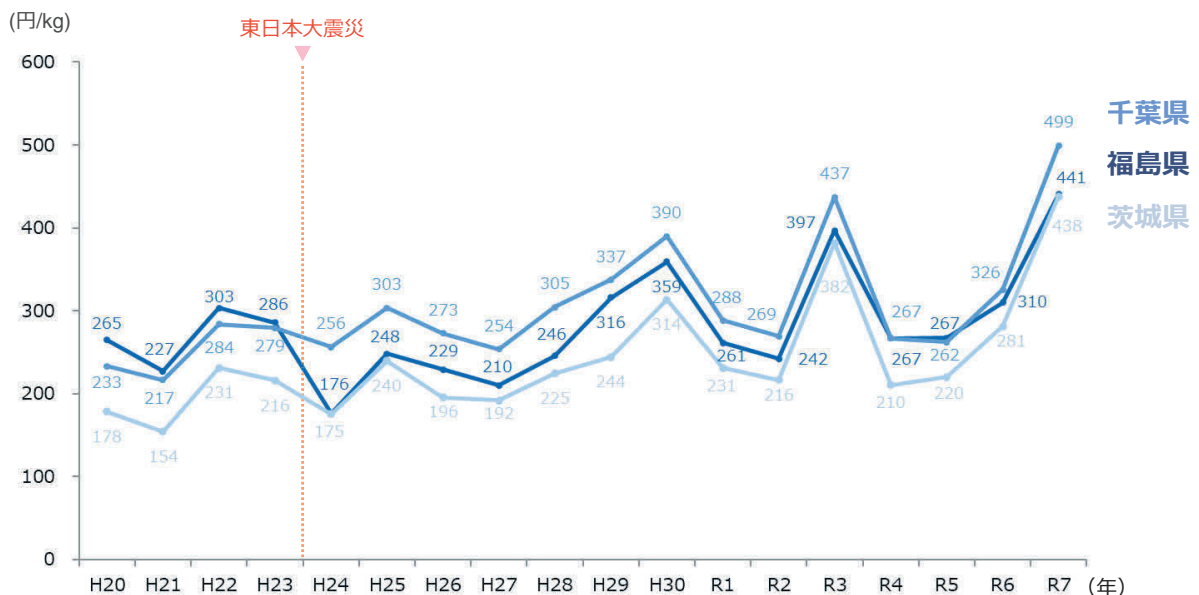
データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

513

東京都中央卸売市場における福島県産ねぎの単価の推移

**東京都中央卸売市場における1月の福島県産ねぎの平均単価は、震災前は千葉県産より高い水準だったが、震災後に価格ポジションが逆転した。震災前後ともに茨城県産より福島県産は高い水準を維持しているが、平成24年以降、価格差が縮まっている。**

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(1月)



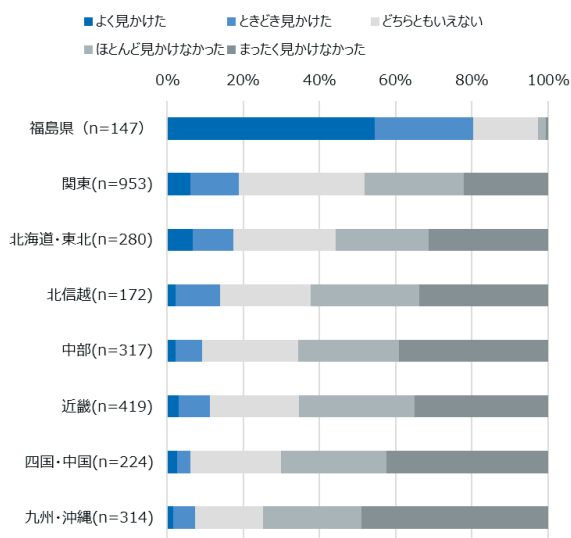
データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

514

## 福島県産ねぎを見た経験と購入経験（消費者アンケート）

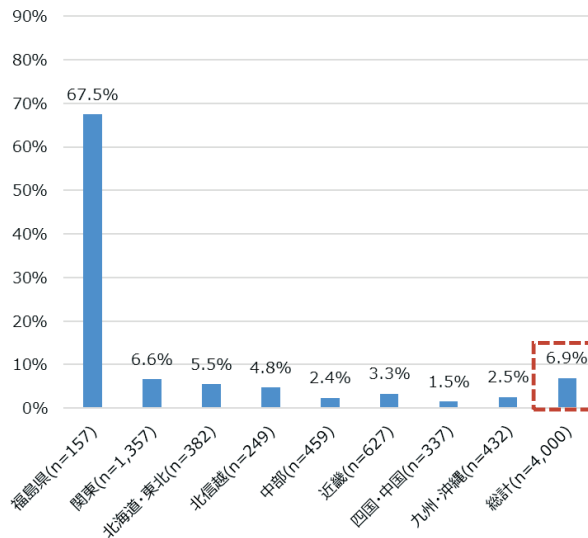
**福島県産ねぎを店頭でよく見かけた人の割合は、福島県が最も高く、他の地域では10%に満たない。福島県産ねぎを購入したことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では6.9%であった。**

福島県産ねぎを店頭で見かけたか



※過去1～2年に、店頭で福島県産ねぎを見た記憶を尋ねた。  
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産ねぎの購入経験率



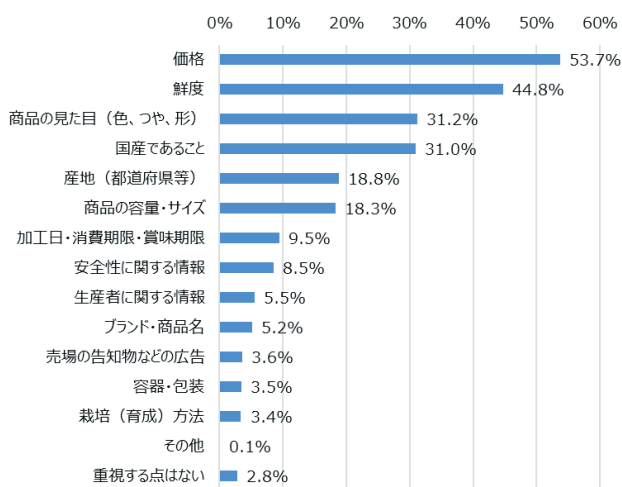
※購入経験率=1度でも購入したことがある人数/回答者数  
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。

515

## ねぎ購入時の重視点と福島県産ねぎの購入者の評価（消費者アンケート）

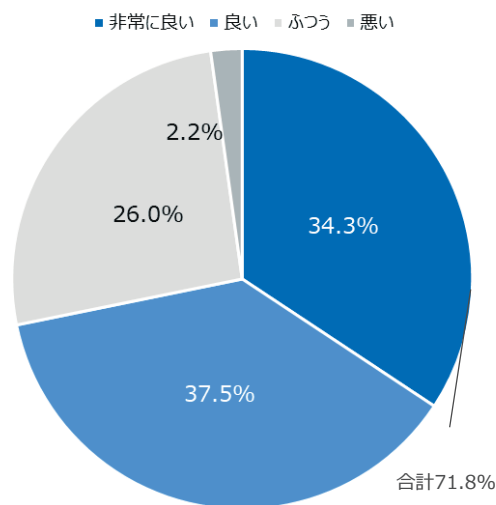
**福島県産に限らずねぎ購入時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがった。福島県産ねぎの購入者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が71.8%であった。**

ねぎ購入時の重視点 (n=3,270、複数回答)



※ねぎ購入時の重視点は、福島県産に限らない質問。  
※月に1回以上ねぎを購入している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産ねぎの購入者の評価 (n=277)



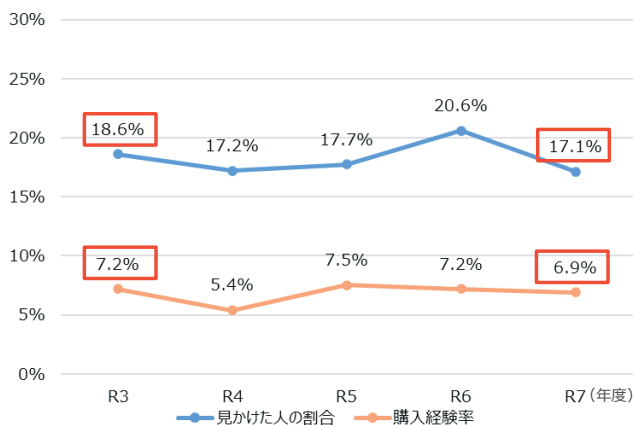
※福島県産ねぎを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。  
※「非常に悪い」という選択肢も設けていたが選択した者はいなかった。

516

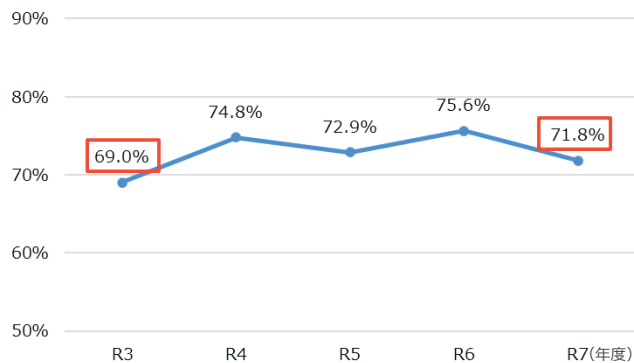
福島県産ねぎを見た経験、購入経験と購入者の評価（消費者アンケート・経年比較）

令和3年度と令和7年度を比較すると、福島県産ねぎを店頭で見かけた人の割合、購入経験率はそれぞれ1.5%、0.3%下降した。福島県産ねぎの評価として「非常に良い」または「良い」と回答した人の割合は2.8%上昇した。

福島県産ねぎを見かけた人の割合、購入経験率



福島県産ねぎを高く評価している人の割合



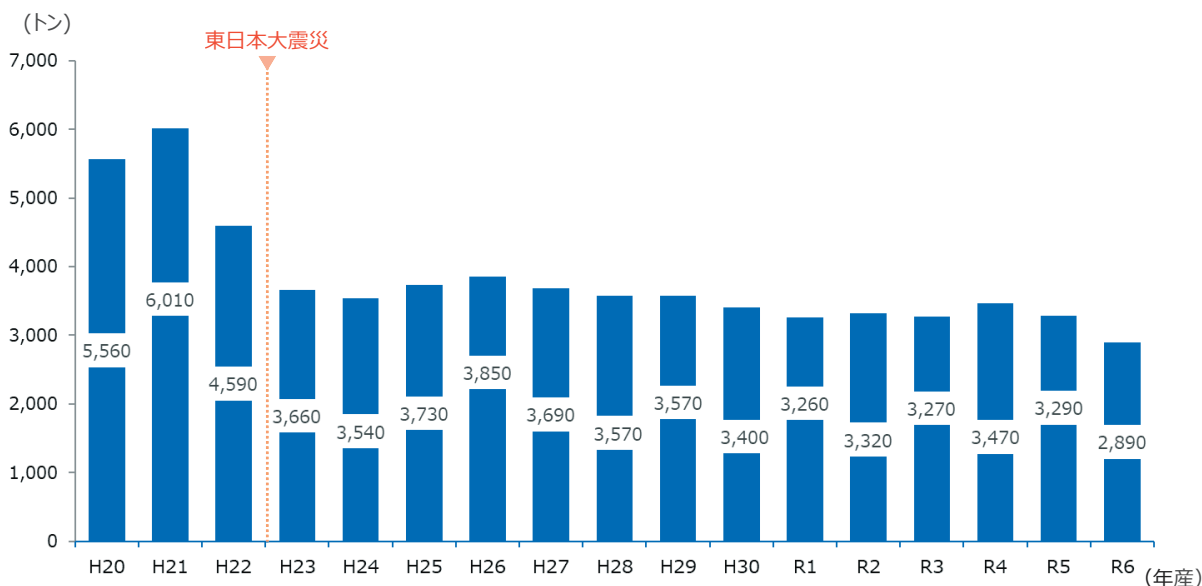
※見かけた人の割合は過去1～2年に、店頭で福島県産ねぎを見た記憶を尋ねたもので、「よく見かけた」、「ときどき見かけた」を選択した者の割合の合計値。  
 ※見かけた人の割合のnはR3:7,653、R4:3,537、R5:2,813、R6:2,562、R7:2,826。  
 nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。  
 ※購入経験率=1度でも購入したことがある人数/回答者数  
 ※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていたら購入経験などとなる。  
 ※購入経験率のnはR3:11,000、R4:5,500、R5:4,000、R6:4,000、R7:4,000。

※福島県産ねぎを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。  
 ※グラフ上の数値は「非常に良い」、「良い」を選択した者の割合の合計値。  
 ※nはR3:795、R4:297、R5:298、R6:287、R7:277。

福島県産ブロッコリーの出荷量の推移

福島県産ブロッコリーの出荷量は、平成22年産・平成23年産が大きく減少し、その後は概ね横ばいで推移しており、令和6年産はやや減少し、2,890トンとなった。

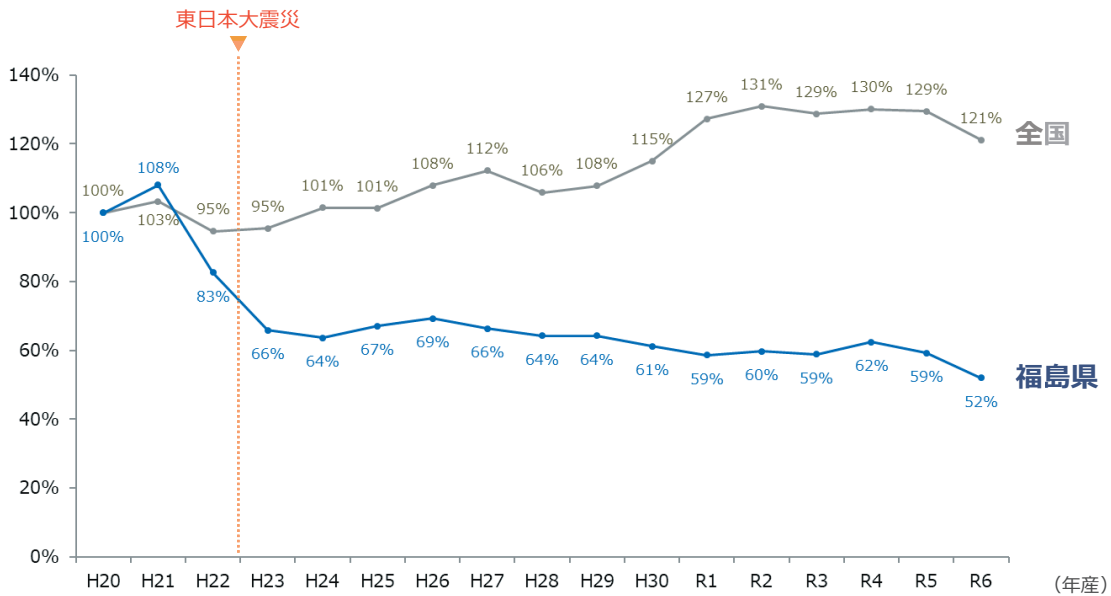
福島県産ブロッコリーの出荷量の推移



全国・福島県産ブロッコリーの出荷量の推移

全国のブロッコリーの出荷量は、平成23年産から概ね増加傾向にあり、令和6年産は121%となった。一方、福島県産の出荷量は、平成21年産をピークに平成22・23年産が大きく減少した後、概ね横ばいで推移し、令和6年産は52%となった。

全国・福島県産ブロッコリーの出荷量の推移(平成20年産を100%とした値)

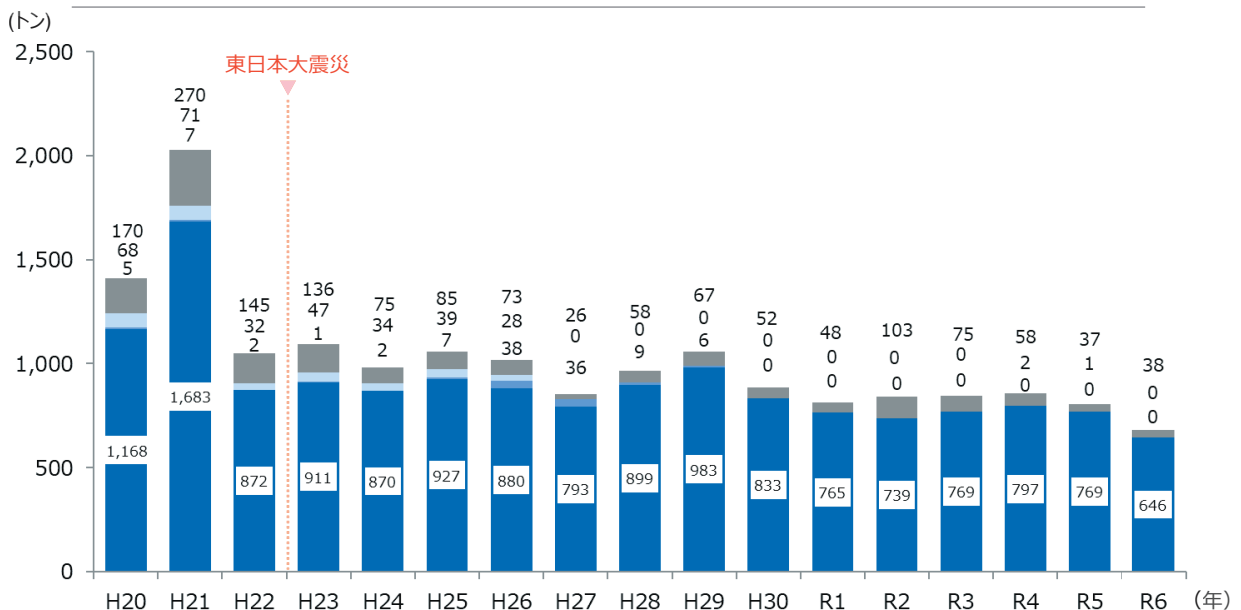


データ出所：農林水産省「野菜生産出荷統計」

各市場における福島県産ブロッコリーの取扱量の推移

主要4地域の市場における福島県産ブロッコリーは、主に首都圏で取り扱われている。震災直前の平成22年以降、ほぼ横ばいの取扱量となっていたが、平成30年以降はやや低い水準で推移するようになり、令和6年の首都圏の取扱量は646トンとなった。

各市場における福島県産ブロッコリーの取扱量の推移



データ出所：各卸売市場の統計データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

※数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、名古屋、札幌の取扱量を表す。

各市場におけるブロッコリーの産地別シェア(令和6年産・首都圏)

福島県産ブロッコリーのシェアは、東京都中央卸売市場では6月に3位となった。横浜市中央卸売市場では5月に2位となった。

各市場における産地別シェア(令和6年産)

東京都中央卸売市場

各月で市場シェア1位～3位の順に  
■ ■ ■ で色付け

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	8%	8%	0%	0%	0%	2%	1%	0%	506
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	25%	71%	73%	65%	45%	5%	0%	6,940
香川	24%	31%	38%	32%	16%	1%	0%	0%	0%	0%	8%	20%	5,522
熊本	19%	21%	22%	20%	14%	1%	0%	0%	0%	2%	18%	15%	4,197
長野	3%	3%	2%	2%	7%	28%	21%	21%	28%	18%	5%	3%	3,520
愛知	23%	19%	15%	7%	5%	0%	0%	0%	0%	1%	9%	16%	3,119
総量	3,813	4,000	3,072	3,411	2,169	2,793	2,822	2,198	2,022	2,513	2,682	2,656	

横浜市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	22%	16%	0%	0%	0%	8%	4%	1%	140
香川	45%	52%	55%	49%	38%	3%	0%	0%	0%	0%	17%	35%	1,071
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	18%	61%	67%	56%	44%	5%	0%	742
長野	0%	0%	0%	0%	2%	57%	38%	33%	44%	36%	2%	0%	627
愛知	27%	23%	23%	10%	11%	0%	0%	0%	0%	0%	13%	18%	463
熊本	13%	15%	14%	18%	10%	1%	0%	0%	0%	3%	22%	14%	384
総量	422	506	339	372	234	294	337	271	258	328	257	319	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。521

各市場におけるブロッコリーの産地別シェア(令和6年産・関西圏)

福島県産ブロッコリーの取扱いは、大阪市中央卸売市場・京都市中央卸売市場において年間を通して見られなかった。

各市場における産地別シェア(令和6年産)

大阪市中央卸売市場

各月で市場シェア1位～3位の順に  
■ ■ ■ で色付け

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
徳島	43%	55%	65%	63%	49%	35%	15%	11%	21%	18%	39%	52%	2,533
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	8%	50%	56%	47%	44%	12%	0%	1,109
長野	0%	0%	0%	0%	1%	28%	35%	33%	26%	17%	1%	0%	744
香川	11%	10%	16%	22%	15%	2%	0%	0%	0%	3%	15%	17%	605
鳥取	9%	4%	4%	5%	10%	19%	0%	0%	0%	11%	15%	8%	475
総量	605	679	471	476	542	574	643	482	397	497	581	558	

京都市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	26%	92%	93%	85%	63%	9%	0%	947
徳島	40%	52%	60%	51%	48%	16%	0%	0%	0%	6%	33%	46%	821
鳥取	10%	8%	11%	7%	24%	21%	0%	0%	0%	7%	12%	12%	266
長野	0%	0%	0%	0%	2%	15%	8%	7%	15%	10%	0%	0%	142
長崎	9%	7%	5%	18%	4%	0%	0%	0%	0%	2%	7%	3%	132
総量	244	278	184	235	237	254	314	259	180	281	252	199	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。522

各市場におけるブロッコリーの産地リレー(令和6年産・その他)

**福島県産ブロッコリーの取扱いは、名古屋市中央卸売市場では年間を通して見られなかった。札幌市中央卸売市場では、1月～3月・5月・11月・12月に福島県産ブロッコリーの取扱いがあった(3月・5月は1%に満たない数量)。**

各市場における産地リレー(令和6年産)

名古屋市中央卸売市場		各月で市場シェア1位～3位の順に ■ ■ ■ で色付け												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0	
香川	23%	26%	27%	47%	51%	9%	0%	0%	0%	8%	47%	40%	1,942	
愛知	45%	44%	35%	18%	9%	2%	0%	0%	0%	3%	19%	29%	1,479	
長野	0%	0%	0%	0%	7%	49%	42%	37%	48%	31%	1%	0%	1,173	
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	9%	56%	63%	52%	34%	2%	0%	1,123	
徳島	8%	11%	18%	18%	17%	5%	0%	0%	0%	12%	10%	11%	753	
総量	784	871	569	776	638	637	595	481	422	600	750	589		

札幌市中央卸売市場		各月で市場シェア1位～3位の順に ■ ■ ■ で色付け												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
福島	9%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	3%	7%	38	
北海道	0%	0%	0%	0%	40%	98%	100%	100%	100%	100%	71%	1%	3,867	
熊本	30%	43%	39%	52%	20%	1%	0%	0%	0%	0%	20%	25%	377	
徳島	11%	10%	24%	17%	19%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	21%	151	
愛知	23%	20%	10%	5%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	3%	19%	140	
長崎	12%	11%	17%	17%	17%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	12%	133	
総量	198	205	143	129	107	429	1,144	839	724	537	225	137		

データ出所：各卸売市場の統計データ

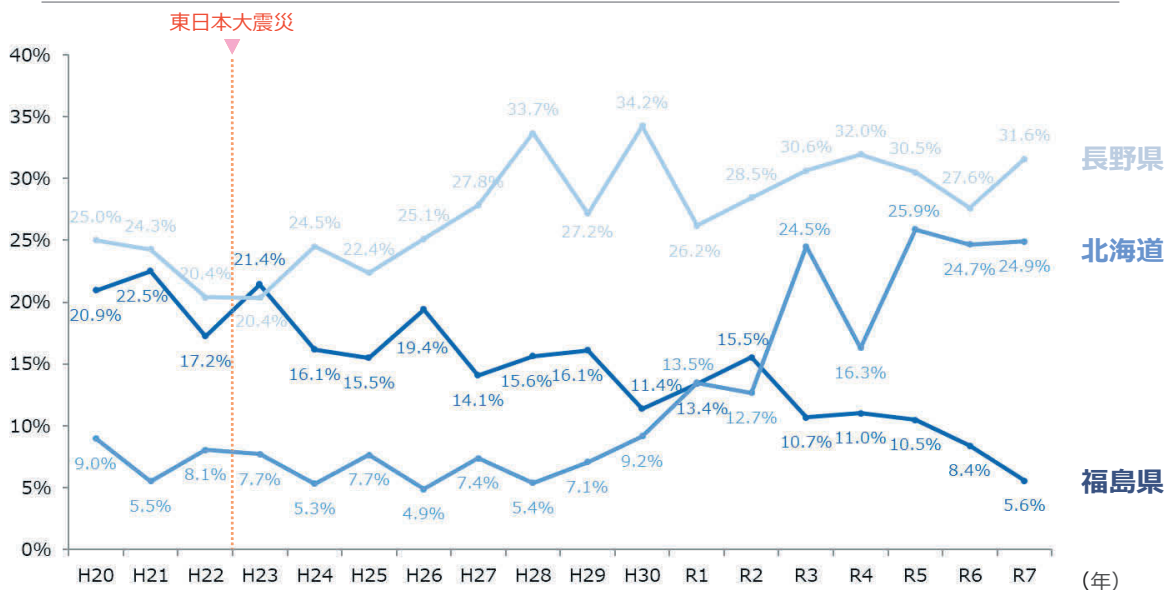
※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。

523

東京都中央卸売市場における福島県産ブロッコリーのシェアの推移

**東京都中央卸売市場における6月の福島県産ブロッコリーのシェアは、震災以前に比べて縮小傾向にあり、令和7年は約5%となった。一方で、近年北海道産・長野県産のシェアが拡大傾向にある。**

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合道県産のシェア(6月)



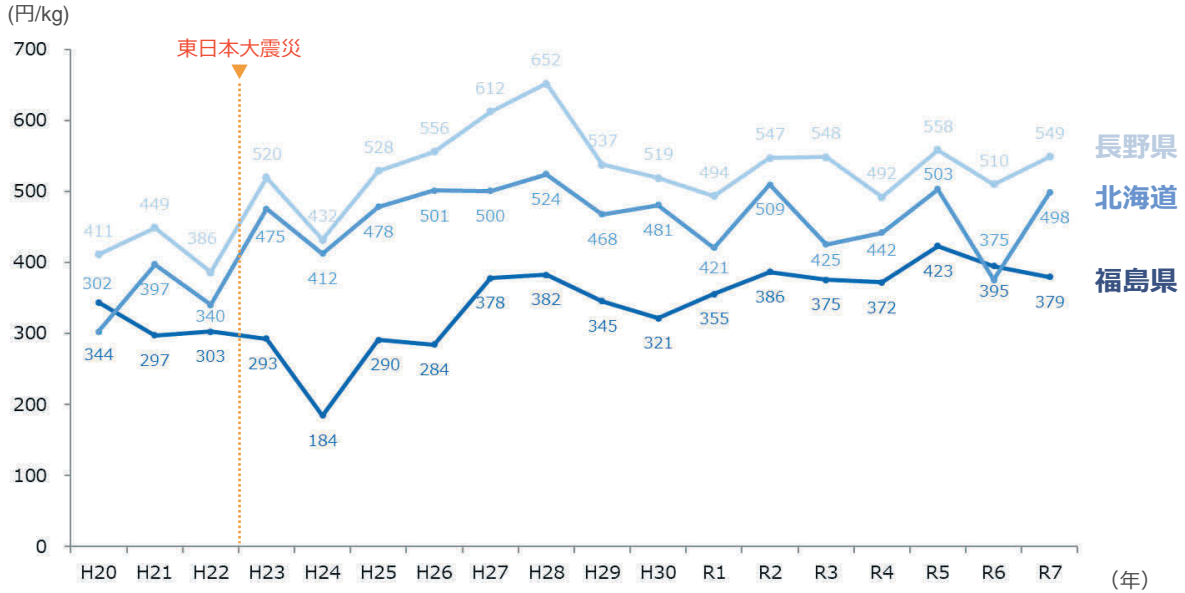
データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

524

東京都中央卸売市場における福島県産ブロッコリーの単価の推移

東京都中央卸売市場における6月の福島県産ブロッコリーの平均単価は、震災前から北海道産や長野県産よりも低く、さらに平成24年には大幅に下落した。平成27年以降、震災以前の価格水準に戻ったが、競合産地よりも低い水準で推移している。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合道県産の平均単価(6月)



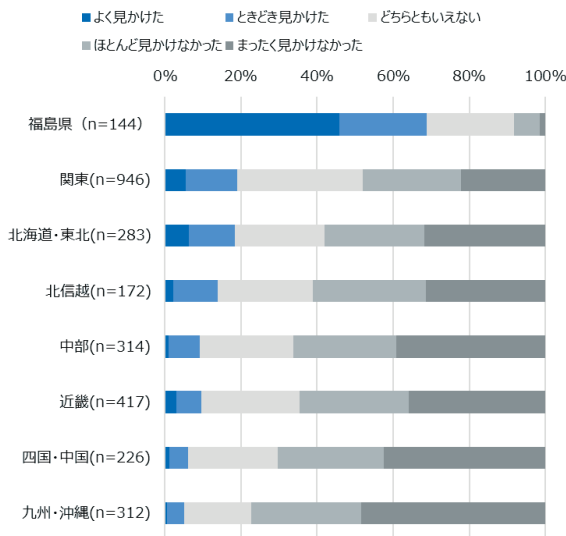
データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

525

福島県産ブロッコリーを見た経験と購入経験（消費者アンケート）

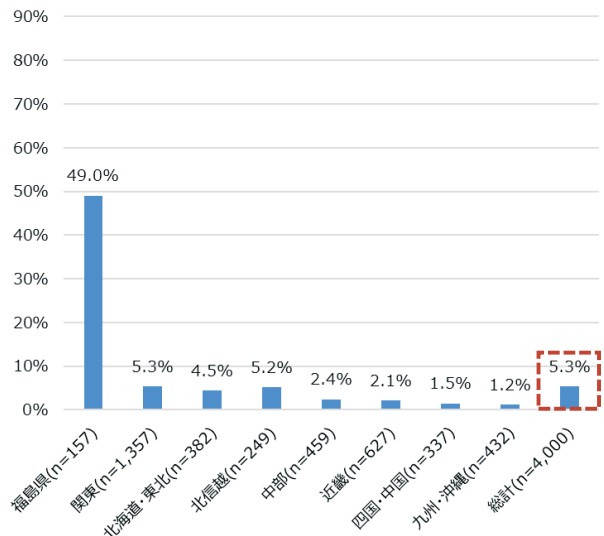
福島県産ブロッコリーを店頭でよく見かけた人の割合は、福島県が最も高く、他の地域では10%に満たない。福島県産ブロッコリーを購入したことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では5.3%であった。

福島県産ブロッコリーを店頭で見かけたか



※過去1～2年に、店頭で福島県産ブロッコリーを見た記憶を尋ねた。  
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産ブロッコリーの購入経験率



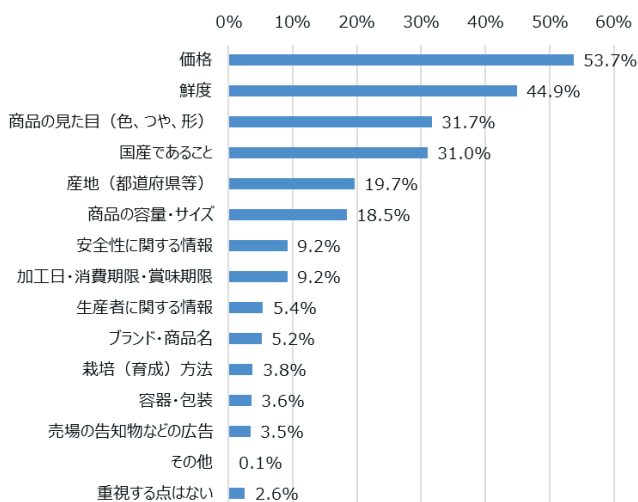
※購入経験率=1度でも購入したことがある人数/回答者数  
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。

526

ブロッコリー購入時の重視点と福島県産ブロッコリーの購入者の評価（消費者アンケート）

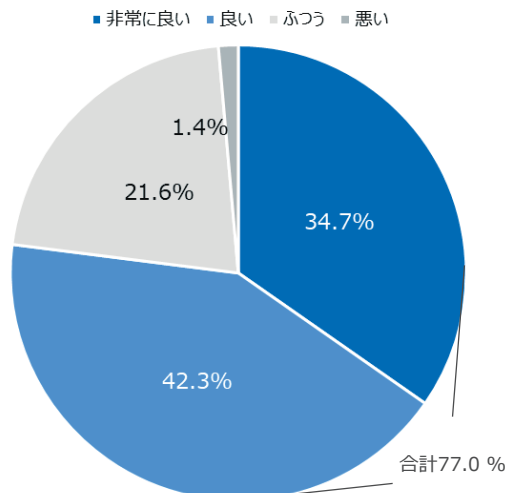
**福島県産に限らずブロッコリー購入時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがった。福島県産ブロッコリーの購入者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が77.0%であった。**

ブロッコリー購入時の重視点（n=2,969、複数回答）



※ブロッコリー購入時の重視点は、福島県産に限らない質問。  
※月に1回以上ブロッコリーを購入している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産ブロッコリーの購入者の評価（n=213）

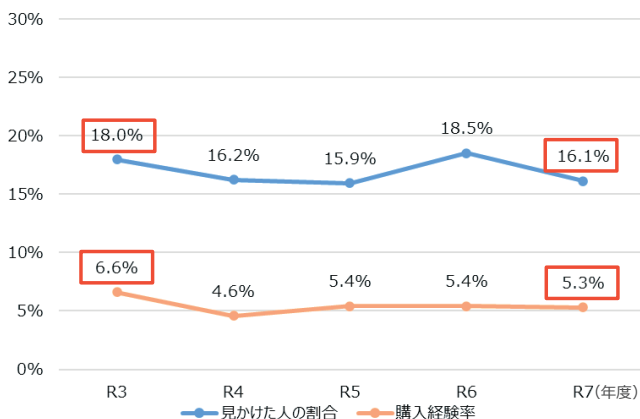


※福島県産ブロッコリーを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。  
※「非常に悪い」という選択肢も設けていたが選択した者はいなかった。

福島県産ブロッコリーを見た経験、購入経験と購入者の評価（消費者アンケート・経年比較）

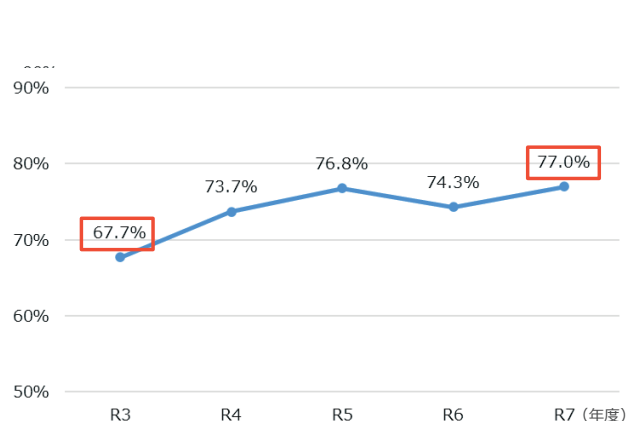
**令和3年度と令和7年度を比較すると、福島県産ブロッコリーを店頭で見かけた人の割合、購入経験率はそれぞれ1.9%、1.3%下降した。福島県産ブロッコリーの評価として「非常に良い」または「良い」と回答した人の割合は9.3%上昇した。**

福島県産ブロッコリーを見かけた人の割合、購入経験率



※見かけた人の割合は過去1～2年に、店頭で福島県産ブロッコリーを見た記憶を尋ねたもので、「よく見かけた」、「ときどき見かけた」を選択した者の割合の合計値。  
※見かけた人の割合のnはR3:7,618、R4:3,508、R5:2,784、R6:2,541、R7:2,814。  
nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。  
※購入経験率=1度でも購入したことがある人数/回答者数  
記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験率となる。  
※購入経験率のnはR3:11,000、R4:5,500、R5:4,000、R6:4,000、R7:4,000。

福島県産ブロッコリーを高く評価している人の割合

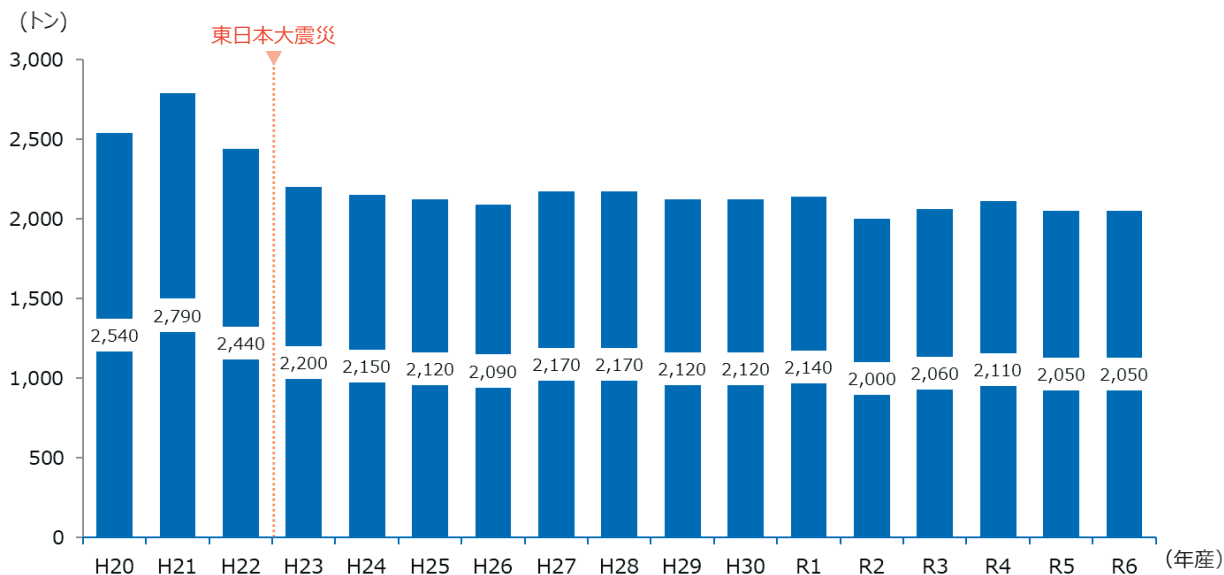


※福島県産ブロッコリーを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。  
※グラフ上の数値は「非常に良い」、「良い」を選択した者の割合の合計値。  
※nはR3:727、R4:251、R5:215、R6:214、R7:213。

## 福島県産いちごの出荷量の推移

福島県産いちごの出荷量は、平成22年産・平成23年産は大きく減少し、その後は概ね横ばいで推移しており、令和6年産は2,050トンとなった。

福島県産いちごの出荷量の推移



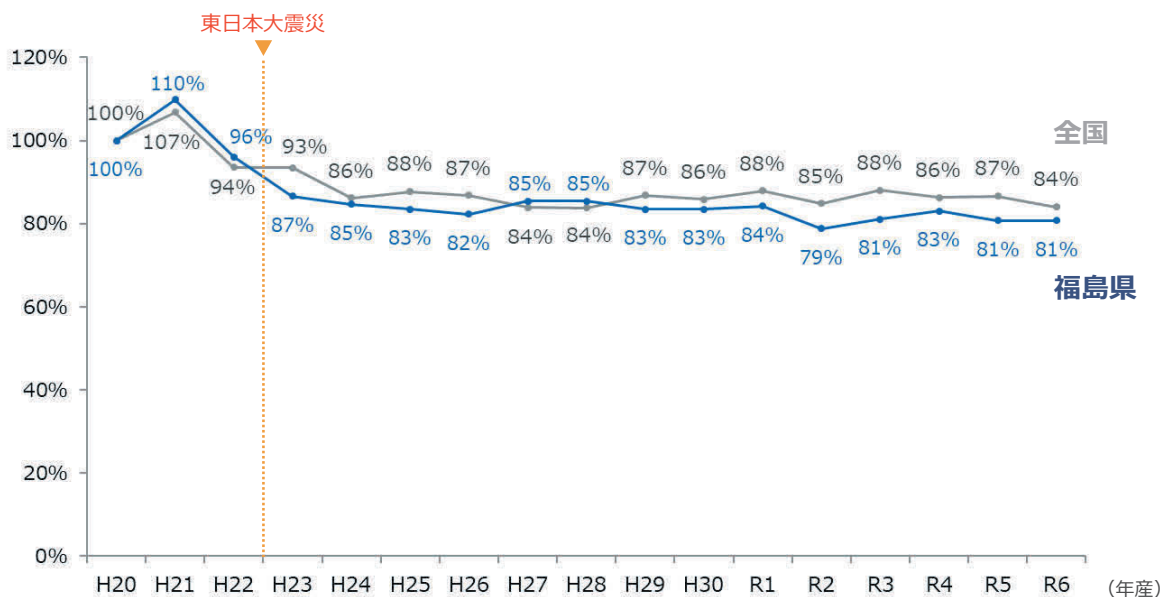
データ出所：農林水産省「野菜生産出荷統計」

529

## 全国・福島県産いちごの出荷量の推移

全国・福島県産いちごの出荷量は、平成21年産をピークにゆるやかに減少し、近年は横ばいで推移している。震災前は福島県産いちごの出荷量は全国水準を上回っていたが、震災後は全国水準を概ね下回っている。

全国・福島県産いちごの出荷量の推移(平成20年産を100%とした値)



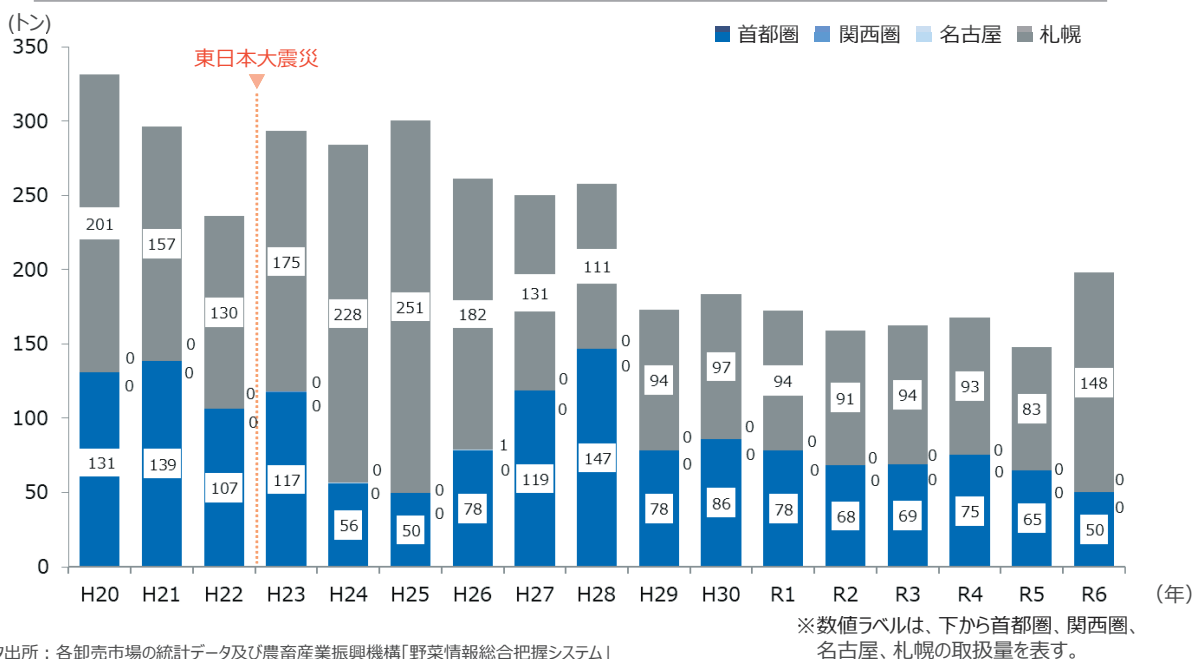
データ出所：農林水産省「野菜生産出荷統計」

530

各市場における福島県産いちごの取扱量の推移

主要4地域の市場における福島県産いちごは、主に首都圏と札幌で取り扱われている。震災後の取扱量は、平成26年と平成29年に大きく減少し、その後横ばいで推移しているものの、令和6年は札幌での取扱量が伸び、総取扱量は増加した。

各市場における福島県産いちごの取扱量の推移



データ出所：各卸売市場の統計データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

各市場におけるいちごの産地リレー(令和6年産・首都圏)

東京都中央卸売市場においては、福島県産いちごは、5月・6月に1～3%程度のシェアを占めていた。横浜市中央卸売市場においては、年間を通してほとんど取扱いが見られなかった。

各市場における産地リレー(令和6年産)

市場	各月で市場シェア1位～3位の順に												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
東京都中央卸売市場													
福島	0%	0%	0%	0%	1%	3%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	50
栃木	49%	54%	50%	51%	62%	14%	0%	0%	1%	28%	75%	61%	12,690
茨城	12%	11%	12%	12%	12%	5%	0%	0%	0%	3%	10%	11%	2,769
福岡	12%	11%	13%	12%	3%	4%	0%	0%	0%	0%	7%	10%	2,544
静岡	9%	9%	8%	8%	9%	5%	0%	0%	0%	1%	4%	7%	1,940
佐賀	6%	4%	6%	5%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	3%	1,046
総量	3,913	4,510	4,871	4,854	2,582	194	37	31	23	37	689	2,041	
横浜市中央卸売市場													
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
栃木	61%	69%	67%	69%	72%	13%	0%	0%	0%	0%	82%	66%	1,117
熊本	13%	11%	12%	6%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	4%	13%	152
静岡	7%	5%	6%	9%	20%	13%	0%	0%	0%	0%	2%	3%	134
長崎	7%	6%	5%	5%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	79
福岡	5%	4%	4%	4%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	4%	63
総量	286	330	342	337	186	10	4	4	5	5	43	126	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。

各市場におけるいちごの産地別シェア(令和6年産・関西圏)

**福島県産いちごの取扱いは、大阪市中央卸売市場ではほとんど見られなかった。京都市中央卸売市場においては、年間を通して見られなかった。**

各市場における産地別シェア(令和6年産)

大阪市中央卸売市場		各月で市場シェア1位～3位の順に ■ ■ ■ で色付け												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0	
長崎	34%	32%	33%	33%	35%	35%	0%	0%	0%	0%	40%	31%	2,305	
熊本	20%	17%	16%	14%	8%	0%	0%	0%	0%	0%	19%	27%	1,148	
福岡	13%	15%	15%	16%	10%	0%	0%	0%	0%	0%	8%	16%	979	
佐賀	11%	9%	11%	12%	18%	16%	0%	0%	0%	0%	1%	8%	767	
香川	7%	8%	7%	8%	16%	32%	2%	0%	0%	0%	9%	7%	605	
総量	1,240	1,296	1,439	1,414	657	105	38	35	32	39	173	613		

京都市中央卸売市場		各月で市場シェア1位～3位の順に ■ ■ ■ で色付け												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0	
福岡	26%	27%	33%	33%	26%	4%	0%	0%	0%	0%	33%	32%	631	
大分	21%	26%	21%	21%	31%	61%	13%	0%	0%	0%	11%	15%	485	
熊本	24%	19%	19%	18%	15%	0%	0%	0%	0%	0%	14%	25%	415	
佐賀	12%	13%	12%	11%	10%	2%	0%	0%	0%	0%	5%	12%	248	
長崎	11%	8%	8%	8%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	7%	159	
総量	343	403	475	475	193	30	8	10	8	11	41	167		

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。 533

各市場におけるいちごの産地別シェア(令和6年産・その他)

**福島県産いちごの取扱いは、名古屋市中央卸売市場では年間を通して見られなかった。札幌市中央卸売市場では、福島県産いちごは4月・11月・12月にシェア3位であり、6月～10月を除き、年間を通して5%前後の取扱いが見られた。**

各市場における産地別シェア(令和6年産)

名古屋市中央卸売市場		各月で市場シェア1位～3位の順に ■ ■ ■ で色付け												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0	
愛知	54%	61%	62%	69%	90%	86%	1%	0%	0%	15%	80%	62%	2,357	
熊本	30%	23%	23%	18%	4%	0%	0%	0%	0%	0%	10%	29%	752	
鹿児島	7%	7%	7%	5%	3%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	3%	199	
佐賀	3%	3%	2%	3%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	79	
福岡	2%	2%	2%	3%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	70	
総量	645	685	705	715	382	49	16	16	14	18	106	304		

札幌市中央卸売市場		各月で市場シェア1位～3位の順に ■ ■ ■ で色付け												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
福島	5%	4%	5%	7%	5%	0%	0%	0%	0%	0%	5%	5%	148	
宮城	68%	64%	70%	69%	71%	33%	0%	0%	0%	3%	85%	77%	2,035	
佐賀	11%	16%	9%	12%	6%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	6%	299	
北海道	0%	0%	0%	1%	11%	51%	74%	63%	59%	60%	5%	0%	118	
茨城	3%	2%	4%	6%	5%	3%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	109	
栃木	5%	4%	5%	3%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	4%	107	
総量	443	511	610	607	408	51	15	13	12	11	71	251		

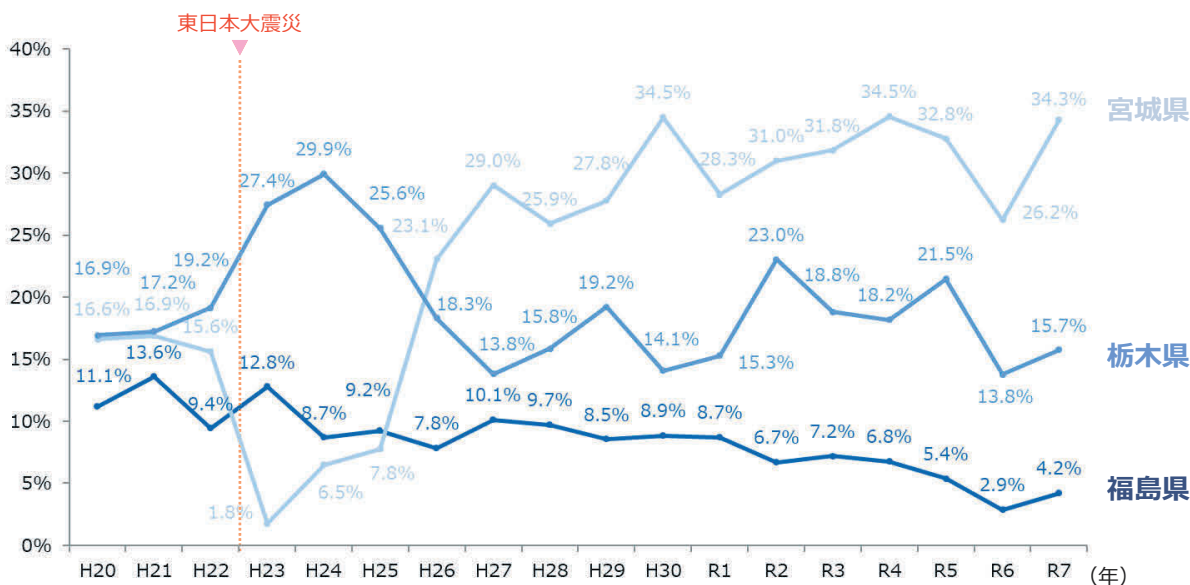
データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。

東京都中央卸売市場における福島県産いちごのシェアの推移

東京都中央卸売市場における6月の福島県産いちごのシェアは、震災前後で大きく変わらなかったが、平成24年以降徐々に縮小し、近年は5%前後で推移している。震災後、宮城県産のシェアが縮小したが、その後回復し、現在は栃木県産を上回っている。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(6月)

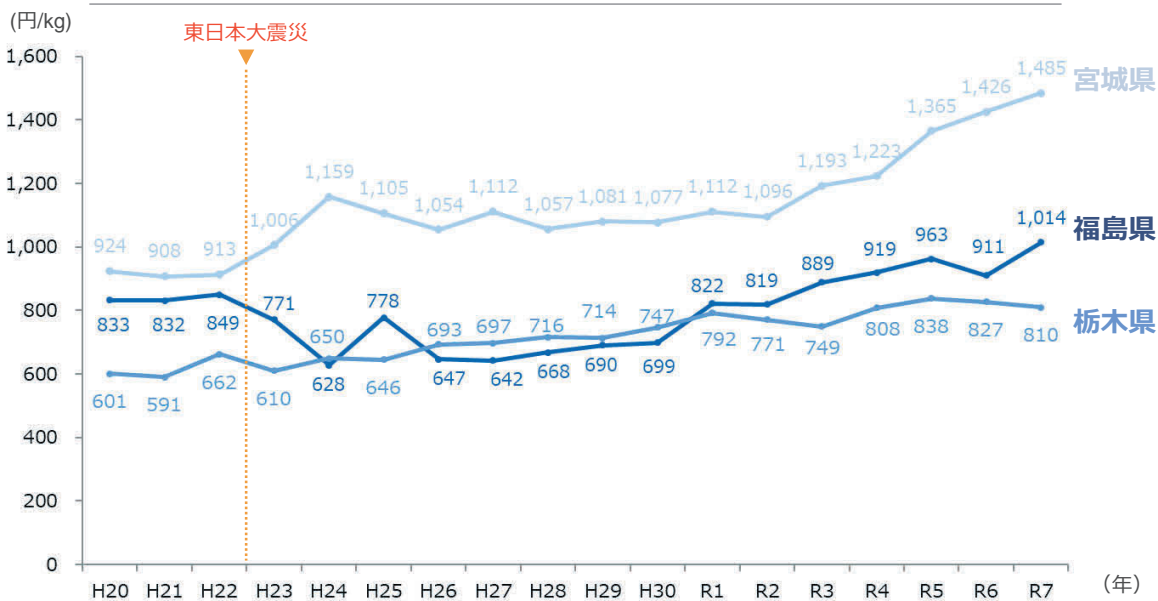


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

東京都中央卸売市場における福島県産いちごの単価の推移

東京都中央卸売市場における6月の福島県産いちごの平均単価は、震災後に栃木県産を下回るようになった。令和元年以降、福島県産の平均単価は再び800円/kgを超え、栃木県産を上回るようになったが、宮城県産との価格差は拡大している。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(6月)

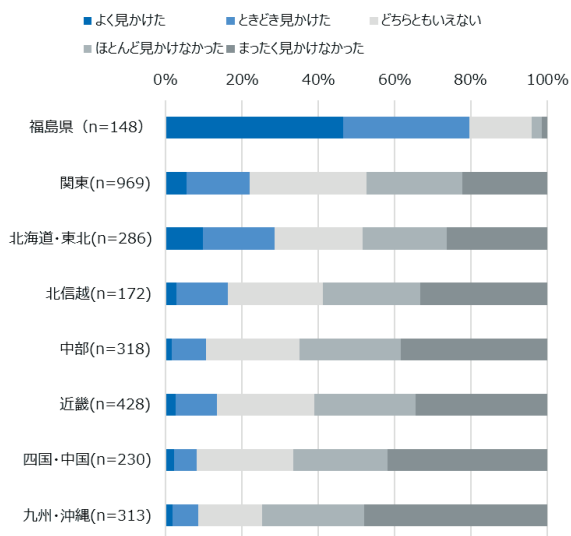


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

## 福島県産いちごを見た経験と購入経験（消費者アンケート）

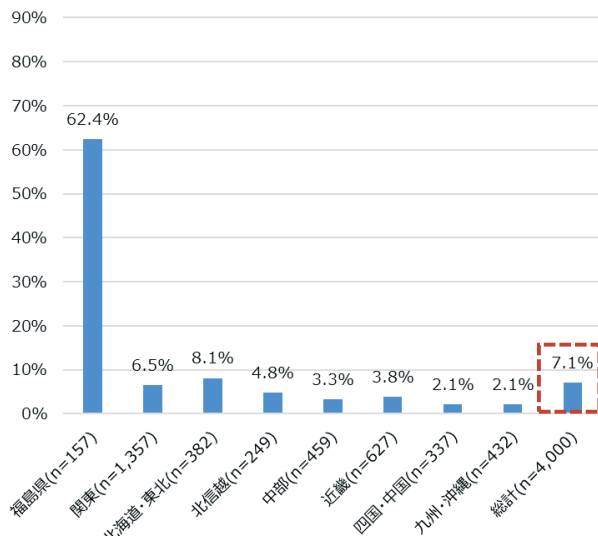
**福島県産いちごを店頭でよく見かけた人の割合は、福島県が最も高く、他の地域では10%に満たない。福島県産いちごを購入したことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では7.1%であった。**

福島県産いちごを店頭で見かけたか



※過去1～2年に、店頭で福島県産いちごを見た記憶を尋ねた。  
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産いちごの購入経験率

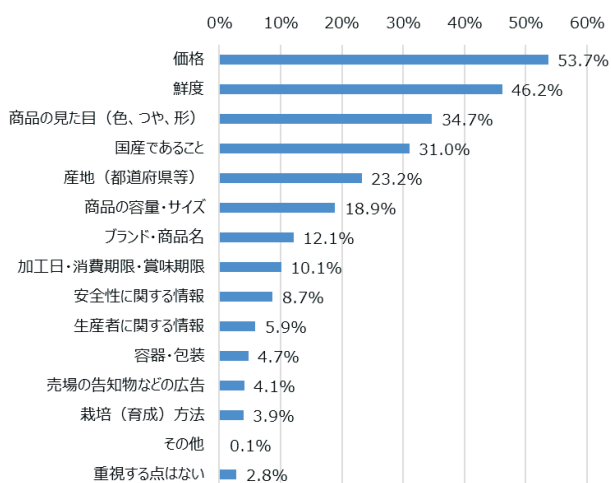


※購入経験率=1度でも購入したことがある人数/回答者数  
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。

## いちご購入時の重視点と福島県産いちごの購入者の評価（消費者アンケート）

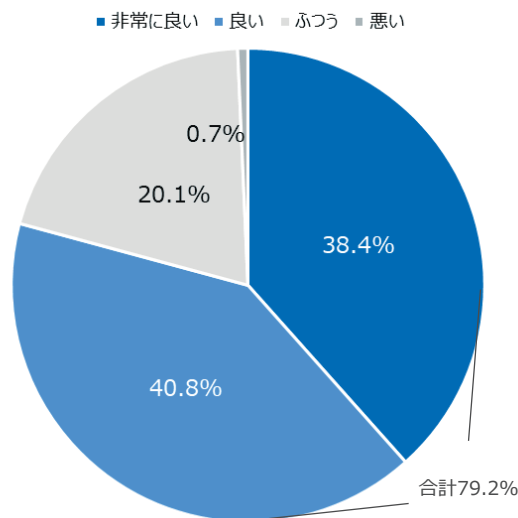
**福島県産に限らずいちご購入時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがった。福島県産いちごの購入者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が79.2%であった。**

いちご購入時の重視点 (n=2,608、複数回答)



※いちご購入時の重視点は、福島県産に限らない質問。  
※月に1回以上いちごを購入している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産いちごの購入者の評価 (n=284)



※福島県産いちごを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。  
※「非常に悪い」という選択肢も設けていたが選択した者はいなかった。